

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する情報提供ホームページの充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

P L A N (計 画)	事業の概要		
	男女共同参画社会づくりに関する意識の定着を図るため、ホームページを通じて情報提供および意識啓発を図る。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①男女共同参画計画(第2次)の進捗状況について平成24年度事業についての評価結果を公表する。 ②男女共同参画イベントの開催案内及び結果を掲載する。 ③男女共同参画に関する意識啓発に係る情報を随時更新し掲載する。			

D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	①平成24年度男女共同参画に係る各事業の進捗状況についてホームページで公表した。 ②第4回ハートフルフェスタ(H26.2.1)及びコスモスサロンの開催案内及び結果を掲載した。 ③男女共同参画に関する講座や講演会等の開催情報を掲載した。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)男女共同参画に関する取り組み状況や各種イベントの紹介などを掲載し、効果的な情報発信ができた。 (課題・問題点)ホームページでの情報提供については、随時発信というよりは、年度末にまとめて更新する形になってしまったので、定期的に最新の情報を提供する必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(課題・問題点)ホームページでの情報提供については、随時更新、発信されたい。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	ホームページ情報の随時更新を図るとともに内容の充実を目指す。より効果的に情報発信するために関係機関相互のリンクをはる、広報、文書配布などの他媒体と連携するなどして幅広く広報できるよう工夫する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	3	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する情報提供ホームページの充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	ホームページでの情報提供が出来ている。
改善策等の提言	
随時、更新をされたい	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	3	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する情報提供ホームページの充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

疑問点・質問事項等

①改善にあげられている事について、26年度の実施を期待します。

ホームページでの情報提供について、随時更新、より分かりやすい内容で情報発信するよう努める。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	人権相談を含めた市民相談の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	課長補佐 嶋田 三恵子	内線番号	7252

P L A N (計画)	事業の概要		
	毎日実施している市民相談に加え、人権に関わる相談について対応を図る。また、人権擁護委員による毎月2回の相談に加えて6月・12月に「特設人権相談」を設け、人権相談の充実を図る。		
	H25予算額	1,100	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	1,100	H26予算額
			1,121
H25年度の具体的取り組み			
①市民相談において対応が困難なものは、弁護士相談や人権擁護委員による人権相談を案内する。 ②千葉地方法務局では常時相談を受けているので案内する。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①市民相談員及び職員による市民相談を実施し、市民相談で対応が困難な相談については、速やかに弁護士による無料法律相談や、人権擁護委員による人権相談を案内した。 ②人権相談希望者に千葉地方法務局の常設相談を案内した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 基本的人権が侵害される諸問題や悩み事に対し、市民相談員及び人権擁護委員が助言・指導を行った。 人権相談を希望する相談者には、常設している千葉地方法務局の常設相談を案内することができた。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)市民サービスに対応できており、継続して取り組んでもらいたい。弁護士に直接相談に行く前のひとつ低い段階が作られている。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	相談窓口の連携を図るとともに、的確な相談窓口への案内や周知を徹底していく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	4	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	人権相談を含めた市民相談の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	課長補佐 嶋田 三恵子	内線番号	7252

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	相談件数が年々増えている中、非常によく対応している。各担当課との連携も図られている。
改善策等の提言	
回答票に挙げてくれたデータを市民に公表してはいかがか。相談できるところがあるということを更に周知できるのでは。 事業評価シートに、人権相談件数及び内訳を掲載していただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	4	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	人権相談を含めた市民相談の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	課長補佐 嶋田 三恵子	内線番号	7252

疑問点・質問事項等

①市民相談員・人権擁護委員が受けた件数並びに指導助言できた(相談者が納得した人数)件数が知りたい。

相談件数

年度	市民相談	人権相談
24年度	335件	6件
25年度	419件	10件

市民相談より法律相談に移行した件数

年度	移行件数
24年度	15件
25年度	13件

市民・人権相談後、更に相談したい方には、法律相談を紹介している。

②市民相談に来庁する人の件数、性別、年齢その中で人権に関する相談の件数、性別、年齢を教えてください。相談内容に関して、項目だけでも良いので教えてください。

24年度	男相談者	女相談者	相談件数	25年度	男相談者	女相談者	相談件数
道路	1	0	1	道路	0	1	1
排水	0	2	2	排水	1	1	2
その他	9	10	17	その他	10	10	20
相 続	40	39	76	相 続	39	63	101
土地家屋賃貸	13	8	20	土地家屋賃貸	2	13	15
金銭貸借	12	8	18	金銭貸借	9	13	22
不動産売買	5	4	9	不動産売買	3	3	6
婚姻・離婚	4	15	19	婚姻・離婚	6	25	30
相隣問題	11	29	40	相隣問題	27	34	60
家庭問題	16	27	41	家庭問題	14	28	42
その他	45	52	92	その他	45	77	120
計	156	194	335	計	156	268	419

※男女で相談来庁有りの為、相談者合計と相談件数は一致しない。

市民相談は、人権に関する取扱としての相談件数は出しておりません。しかし、離婚や相隣問題には、人権問題が含まれている相談ケースはありました。

人権擁護委員による相談者の性別は非公開となっております。

③改善にあげられている相談窓口の連携について具体的に教えてください。

24年度の改善の取り組みであったが、25年度については、消費生活相談・納税相談・生活保護相談 子育て支援・DV相談・高齢者相談・障害者相談・道路・土木問題・ゴミ・空き家問題 等担当課との連携が図られた。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	広報等による人権相談の周知徹底と意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	課長補佐 嶋田 三恵子	内線番号	7252

PLAN (計画)	事業の概要		
	<p>毎月1日号の広報もばらに市民相談・無料法律相談などの相談事業、第2火曜日・第4木曜日に行われる人権・行政相談を掲載し、広く市民に周知を図る。</p> <p>また、人権擁護委員の日(6月1日)および人権週間(12月4日～10日)にちなんで6月・12月に開設される「特設人権相談」について、広報もばらに相談日時と人権擁護委員の氏名を併せて掲載するとともに、街頭啓発活動(啓発物資の配布)を行い、人権尊重意識の啓発を図る。</p>		

H25予算額		H25予算額(再掲の場合)	
H25決算見込額		H26予算額	

H25年度の具体的取り組み	
<p>①広報への掲載やホームページ、法務局より配布されるポスターを活用して周知を図っていく。</p> <p>②広報で特集して市民への人権意識の向上を図っていく。</p> <p>③小学校を対象とした人権教室に職員が参加する。</p> <p>④啓発活動に参加して人権尊重意識の啓発を図る。</p>	

DO (実施)	H25年度の実施結果	
	<p>①②毎月1日号の広報もばら・ホームページに各種相談日を掲載し周知を図った。</p> <p>③④人権擁護委員による、小学校低学年の人権啓発活動、人権教室(啓発物資の配布・紙芝居・DVDの上映)に担当者が参加し、人権について周知を図った。また、その内容を広報もばらに掲載した。</p>	

数値目標とその成果	

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 相談日や人権教室を広報に掲載することにより、意識の向上や相談窓口の周知が図れた。

推進委員会による2次評価とその理由	
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)人格形成において重要な小学校低学年を対象に教室を開き、また、職員が参加することにより、より身近に感じ取ることができるため大変よい取組だと思う。(課題・問題点)よりよい周知を行ってほしい。

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	引き続き、広報での相談日の周知や、人権擁護委員による特設人権相談等の相談体制を充実させていくとともに、人権教室等に積極的に参加していく。	

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	5	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	広報等による人権相談の周知徹底と意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	課長補佐 嶋田 三恵子	内線番号	7252

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	小学校低学年を対象の教室を開催するなどとても良い取り組みをしている。男女平等など人権をこの時期から知ることが非常に大事。教員にとっても勉強になると思う。
<p>人権擁護教室のアシスタントを育成してはどうか。年間3校ではなく全小学校で開催して欲しい。それが無理なら、ビデオを貸し出しそれを基に授業をしていただきたい。</p>	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	5	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	広報等による人権相談の周知徹底と意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	課長補佐 嶋田 三恵子	内線番号	7252

疑問点・質問事項等

①広報で相談日の周知を図っているようですが、24年度に対する相談者の割合はいかがでしょうか。

問4の回答のとおり(男女別の統計はとっていない)

②人権教室の内容を具体的に教えてもらいたい。また資料等があればいただきたい。

小学生児童1・2年生を対象に、人権擁護委員による45分間の道徳の授業を行います。

低学年に親しみやすい、人KENまもる君・あゆみちゃんのキャラクター(やなせたかし)が登場するビデオ「世界をしあわせに」の上映や、人権擁護委員による人形劇や紙芝居の上演で、意地悪や仲間はずれについてみんなで考える授業です。みんな仲良くをメッセージに年間3校開催しています。

別紙のとおり

③改善(ACT)特設人権相談について説明して下さい。

特設人権相談は、6月1日人権擁護委員の日、12月4日～10日人権週間にちなみ、6月と12月に開催しています。10時～15時と相談時間(他の月は13時～16時)を延長して開催します。

気軽に相談できるよう広報やホームページを利用し啓発に努めていきたい。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	9	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主幹 板倉 正樹	内線番号	6239

PLAN (計画)	事業の概要		
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康福祉センター)、女性サポートセンター、警察、母子生活支援センター、中核地域生活支援センター、民生委員・児童委員などの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図る。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
	0		
H25年度の具体的取り組み			
<p>①様々な機会を捉え関係機関との連携の強化に努める。 ②被害者の保護や支援に関する情報収集に努める。 ③関係機関との連携により支援に努める。</p>			

DO (実施)	H25年度の実施結果		
	<p>①要保護児童対策地域協議会での、個別検討会や実務者会議などを活用し関係機関との連携を図った。 ②要保護児童対策地域協議会の事務局として、関係機関への情報提供と収集に努めた。 ③県女性サポートセンターや婦人保護施設との連携により、支援計画会議を開催し支援に努めた。</p>		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 関係機関の代表者や実務担当者との会議を個々に年間3回開催し、困難ケース事例の検討を行うなど対応連携の強化に努めている。 (課題・問題点) 他市町村から避難者、また、他市町村への避難者もあり、連携の範囲が多様化している。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 茂原市で大きな問題は聞いていないので、一定の連携が取れているものと思われる。 (課題・問題点) 連携の範囲が本当に多様化しており、さらなる連携強化が必要である。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	関係機関との情報共有による連携を図り、被害者の支援に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	9	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主幹 板倉 正樹	内線番号	6239

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	関係機関との連携の強化が出来ている。取り組むべきことを実行している。
改善策等の提言	
男女共同参画に関して、総合的に対処する部署(男女共同参画推進室等)を作るべきと考える。 職員の更なる意識改革が必要と考える。 男女共同参画を担当する職員の増員が必要ではないか。 他市町村から避難者が来た場合の対応策を関連する課で協議する必要がある。 個人情報管理の更なる徹底をお願いしたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	9	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主幹 八島 忠行	内線番号	6239

疑問点・質問事項等

①DV対策について関係機関との連携の強化、平成25年度の具体的取り組みも含め、子育て支援課のみで対応できる事業でしょうか？

③DVに関する市内の主管課は子育て支援課なのでしょうか。課題に挙げられている、連携の範囲の多様化もあり、相談員の配置されている課で総合的に関係機関との連携、緊急的対応の充実が求められていると思いますが、どうなのでしょう？

(①③回答) DV対策につきましては、関係機関・関係部署との連携の強化を図っており、支援の方法等福祉全般の制度が関係する事から、子育て支援課・高齢者支援課で対応している状況であります。

具体的な支援にあたっては、経済的な問題も含んでおり事例毎に関係機関に支援依頼を行っているところであります。

連携の範囲が多様化していることもあることから、それぞれの事例に応じた関係部署・関係機関と連携を密にし、他市町村との転出入者の情報の把握等も含め被害者の保護につとめております。

緊急的対応の充実につきましては、担当職員の緊急連絡先を明確化するとともに、その相談・保護にあたっては、関係機関である女性サポートセンター・東上総児童相談所・茂原警察署等で連携を密にし、対応が図られるよう体制を整えているところであります。

②要保護児童対策地域協議会は行政に義務づけられており、子育て関係の課が担当し、児童の部分については連携・情報共有が図られると思います。事業9及び平成25年度の具体的取り組みは他を含めた実施が求められている。

関係部署においてDVと思われる案件については、個々に情報提供があり対応しているところであります。

また、DV被害者の希望で連絡先や住所など加害者に知られないようにするため、特別な届け出書により各関係部署が対応できるシステムになっております。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者に対する市営住宅入居要件の緩和	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	建築課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	石渡 博康	内線番号	7855

P L A N (計画)	事業の概要	
	配偶者又は婚姻に類する交際の相手方から暴力を受けている被害者および20歳未満の子から成る世帯が市営住宅の申し込みをした場合、その者がDV被害者として認められた者(婦人保護施設に入所しており、その長などが「母子及び寡婦福祉法」による母子世帯と証明した者、または裁判所から保護命令が発効されている者)であれば、入居要件を緩和する。	
	H25予算額	0 H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0 H26予算額
D O (実施)	H25年度の具体的な取り組み	
	配偶者又は婚姻に類する交際の相手方の暴力によるDV被害者として認められた場合、入居資格要件である「現に同居し、または、同居しようとする親族」を緩和し、申込多数の場合の抽選においては、一般枠から特枠とし、一般より当選の確率が高くなるように配慮をする。	
C H E C K (評価)	H25年度の実施結果	
	DV被害者からの申込件数:1件(落選:1件)	
	数値目標とその成果	
A C T (改善)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 今年度は1件の入居申込があった。 (課題・問題点) 今後も引き続きDV被害者から入居に関する相談等があった場合は、関係部署と連携し、個々のケースを十分に考慮したうえで入居できるような体制を構築していく必要がある。
	推進委員会による2次評価とその理由	
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) DV被害者に対する一定の配慮ができています。(同意書・説明もできていると思う。) 一般の方の理解も得られていると思う。	
次年度における取り組み(予定)		
担当による1次評価に同じ。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	10	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者に対する市営住宅入居要件の緩和	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	建築課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	石渡 博康	内線番号	7855

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	DV被害者に対してとりあえずの配慮は出来ている。
改善策等の提言	
<p>入居要件を緩和しても入居出来なければ意味がない。市営住宅に入るのは無理に近い。他の住宅も含めて関連する課と再度、検討しなおしていただきたい。</p>	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	10	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者に対する市営住宅入居要件の緩和	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	建築課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	石渡 博康	内線番号	7855

疑問点・質問事項等

①DV被害者からの申し込み1件が落選になった理由を教えてください。該当したが入居できなかったということか(個人情報にふれない範囲で確認したい)

当該申込者につきましては、一般より当選の確率が高くなるように配慮いたしましたが、抽選の結果、落選となったものです。

②更に課題としてあげている関係部署と連携、個々のケースを十分考慮した上で入居できるような体制を構築していく必要があるとしていますが、それができていないと理解してよいのか、できていないとしたら何がネックになっているのですか。

現在でも関係部署と連携しており、今後も引き続き連携を継続してまいりたいと考えております。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者への被保険者証の交付	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	国保年金課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 神馬 洋	内線番号	7234

P L A N (計画)	事業の概要			
	DV防止法に基づき、配偶者からの暴力を受けている被害者および子については、茂原市の住民基本台帳の記録の有無を問わず、実際に茂原市に居住し必要な要件を満たした場合、国民健康保険への加入を認める。			
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)	0
	H25決算見込額	0	H26予算額	0
	H25年度の具体的取り組み			
①DV被害者からの相談があった場合に迅速かつ適正に対応できるように職員の研修を行う。 ②女性サポートセンターや配偶者暴力相談支援センターおよび庁内関係部署と連携を図り適切な対応に努める。				

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①人事異動、担当事務の変更にあわせて、資格管理の研修を実施した。 ②関係部署と連携し、DV被害者へ特例(住民登録地以外での交付)により被保険者証を交付した。実施件数:1件		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 外部および庁内関係部署と連携を図り、DV被害者からの相談に対応することが出来た。 また、被保険者証の交付にあたり、適切な案内が出来た。 (課題・問題点) 関係部署と情報共有することで被害者情報を適切に管理する必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(課題)ケースバイケースになるものであるが、対応方法についてマニュアル化するなど、次に来たときにも同様に対応できるようにする必要がある。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き職員の研修を実施し、DV被害者からの相談に適切に対応できるように努める。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署との情報共有に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	11	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者への被保険者証の交付	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	国保年金課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 神馬 洋	内線番号	7234

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	職員の研修が実施されている。外部および庁内関係部署との連携が図られている。
改善策等の提言	
引き続き適切な対応・情報管理の徹底に努められたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	11	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者への被保険者証の交付	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	国保年金課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 黒澤 尚	内線番号	7234

疑問点・質問事項等

①窓口で相談者が来たときの対応について伺いたい。
(別室で対応する、関係課の職員が同席するなど、何か配慮されているか。)

別室での対応、関係課の職員の同席については、状況により適宜対応している。

①課題として、関係部署と情報共有による被害者情報の適切な管理の必要があげられていますが、早急な対応が求められていると思います。DV被害者に関わる他の課も同じく問題になっているのでしょうか。どのような課題解決の手だてが考えられますか？

被害者情報の適切な管理に関する課題解決の手だてについては、情報を集約する担当課を先ず決め

ることが必要であると考えます。そのうえで、情報を共有し、適切に管理していく仕組みを構築する必要が

あると考えます。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	12	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	職場におけるセクハラ防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係及び 担当者職氏名	(企画政策課) 主事 田村 理恵 (商工観光課) 係長 吉田 功	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
		内線番号	企画7416 商工7633

P L A N (計画)	事業の概要		
	職場におけるセクハラ防止について茂原商工会議所、茂原工業団地連絡協議会、茂原卸商業団地協同組合、六社懇談会等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用均等室やちば県民共生センターなどの関係機関において実施されている相談窓口について、広報もばらやパンフレットにより情報提供を行う。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
<p>①商工会議所や他の関係機関との連携を深めることにより、同所女性会及び加盟している会員に対する講習会の開催等の機会を利用し、セクハラ防止の更なる促進を図る。</p> <p>②広報もばらや茂原市ホームページにおいて、セクハラ防止についての情報提供を行い、事業主にセクハラ対策の促進を依頼する。</p>			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<p>①商工会議所女性会及び加盟している会員に対する講習会の開催等の機会を利用し、セクハラ防止に係るパンフレットを配布した。</p> <p>②茂原市ホームページ上に開設している「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」に「セクハラ防止のために」の項目を設け随時情報提供に努めた。</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の理由)商工会議所との連携は取れているが、ホームページやパンフレットのみ の情報提供にとどまってしまった。 (課題・問題点)商工会議所以外の関係機関との連携が取れていない。また事業主が各 職場においてどのような対応をしているのか現状を把握できていない。また、ホーム ページでの情報提供にどの程度効果があるのかが見えない。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(課題)連携を図るための会議が必要。また、講演会等の発信源の強化を検討されたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	関係課や商工会議所と連携して市内企業に積極的に働きかけ、より具体的・効果的なセクハラ防止の方法を検討する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	12	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	職場におけるセクハラ防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係及び 担当者職氏名	(企画政策課) 主事 田村 理恵 (商工観光課) 係長 吉田 功	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
		内線番号	企画7416 商工7633

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	情報提供のみにとどまっている。
改善策等の提言	
まず、セクハラに関して事業主に理解してもらう事が大事と思われる。直接、担当者と話し合い取り組み方法を検討する。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	12	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	職場におけるセクハラ防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係及び 担当者職氏名	(企画政策課) 主事 田村 理恵 (商工観光課) 係長 吉田 功	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
		内線番号	企画7416 商工7633

疑問点・質問事項等

①職場におけるセクハラ防止への促進は貴課の先導的働きが大切だと思うが、各企業の受け止め方はいかがですか。

(企画政策課)セクハラ防止について各企業に直接働きかける方法としては、県のパンフレット配布やホームページによる情報提供にとどまっており、どの程度各企業に情報が伝わっているか、それに基づいて対策がとられているのか現状では把握できていない。今後企業に働きかけていく為の方策を検討する必要がある。

(商工観光課)セクハラ＝性的嫌がらせは、モラルに反することという考えはすでにどの企業にも浸透しており、してはいけないことは当然のことである、と受け止められている。

②六社懇談会の六社について教えてください。

日立ディスプレイ、東芝コンポーネッツ、双葉電子工業、三井化学、大多喜ガス、関東天然瓦斯開発の6社

現在はジャパンディスプレイ、双葉電子工業、三井化学、大多喜ガス、関東天然瓦斯開発の五社懇談会になっております。

③平成25年度の具体的取り組みで、～他の関係機関との連携～とありますが、具体的に主な機関はどこですか？

茂原工業団地連絡協議会、茂原卸商業団地協同組合、六社懇談会

④推進委員による2次評価の課題にあげた、連携を図るための会議～発信源の強化 について説明下さい。

セクハラ等を防止するため商工会議所・企業との連携会議やセクハラ防止を啓発する講演会等の開催

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

P L A N (計画)	事業の概要		
	市の刊行物にとどまらず、すべての表現(文章・写真・イラスト等)において男女共同参画の視点によるガイドラインを遵守するよう、周知に努める。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①新規採用職員研修時に「茂原市男女共同参画表現ガイドライン」を配布し、説明を行う。 ②茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会開催時に「ガイドライン」を配布し、説明を行う。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①新規採用職員研修時には実施せず。 ②茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会第1回会議(H25.5.30)開催時に「茂原市男女共同参画表現ガイドライン」を配布し、内容について説明した。対象:男女共同参画社会づくり推進委員会委員(16人・男女各8人)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(9) 表現ガイドラインに関する研修の実施 5回以上(年1回以上) 成果:1回		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の理由)表現ガイドラインに関する研修を1回実施し、数値目標を達成したが、実施対象を広げる必要があるため。 (課題・問題点)表現ガイドラインについては、まだあまり認知されていないため、職員をはじめとしてより多くの人に周知していく必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	研修回数含め、周知・意識付けを行ってほしい。これを行うことにより各課で発注するパンフレットの判断基準にもなり、市民への対応につながっていく。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	毎年行っている新規採用職員研修及び庁内推進委員会におけるガイドラインの説明については引き続き実施するとともに、より多くの職員に周知していくため、庁内イントラへ掲載する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	14	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	新規採用職員研修時に実施できなかった。
改善策等の提言	
研修会を数回行い、より多くの職員に周知してもらおう。ガイドラインを必ず見るように伝える。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	14	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

疑問点・質問事項等

①「茂原市男女共同参画表現ガイドライン」資料を提示下さい。

別添資料をご参照ください。

②新規採用職員研修時、実施できなかった理由をお聞かせ下さい。

45分という限られた時間で男女共同参画について説明する必要があったため、省略せざるを得なかった。

③「表現ガイドライン」の職員への周知は、市職員への大書での周知で可能かと考えますが、どうなのでしょう？

市職員全体に通知するためには市内LANの使用も効果的と考えるが、この方法だと閲覧する職員が興味のあるものに限られてしまう。やはり説明を交えて会議等の機会に紹介するほうが周知には効果的であるとする。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	16	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	家庭教育に関する相談の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(1)家庭における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	係長 最首 誠	内線番号	7932

P L A N (計画)	事業の概要		
	子供のしつけ、発達、教育などで悩みを抱える保護者に対し、家庭教育相談員が解決策等の適切なアドバイスを行い、支援体制の充実に努める。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
集団不適応を起こしている子供、保護者への支援を行う。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	電話相談2回 面接2回		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 相談には的確な助言ができた。 (課題・問題点) 相談は4回とも母親であり、特別支援が必要な児童のことや、経済的問題のことであり、解決は難しい。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 相談内容はどのような内容で、どのような助言をしたのかが分からない。 解決が難しいとあるが、的確な助言になったのか、周知は図ったのか、周知すべきなのが見えない。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	相談室内の相談にとどまらず、家庭教育学級や就学時子育て講座の講師として積極的に子育て支援に取り組んでゆきたい。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	16	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	家庭教育に関する相談の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(1)家庭における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	係長 最首 誠	内線番号	7932

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	生涯学習課だけで対応が不十分と思われるケースについては、関連する課と連携する必要があると思う。
改善策等の提言	
内容に応じて、学校教育課、子育て支援課、社会福祉課等と更なる連携をする。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	16	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	家庭教育に関する相談の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(1)家庭における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	係長 最首 誠	内線番号	7932

疑問点・質問事項等

①計画の集団不適応を起こしている子供とありますが、表現が適切でしょうか？

集団不適応とは、人との付き合いが苦手、コミュニケーションがうまくとれない等により、学校生活に適応できない、家庭生活がうまくいかない、さらには職場に適応できなくなる場合をいう。今回の相談内容が就学児童が学校生活に適応できない状態についてであるので、集団不適応でも問題はないが、学校不適応の方が適切だった。

②子供とありますが、計画の表記及び現在は子どもと表記すると思います。

文科省が2013年6月下旬公用文中の「子ども」の表記を「子供」に統一した。文科省が「子供」は、差別表現ではないと判断し、統一に至ったとのことである。同省は、「各教育委員会に「子供」を使うよう呼びかける考えはない」との見解を示しており、現状はあくまでも省内の公文書に限るようだ。故に、「子供」でも間違いではない。

③実施(DO)、評価(CHECK)について具体的に詳しく説明して下さい。

○事例1:4年女兒への担任の対応についての相談(電話相談1回・面接2回)

- ・相談内容 担任との関係を悪くしたくないのでどうしたら良いか。との相談であった。
- ・助言内容 担任との人間関係づくりや管理職へ直接会って相談する方法について助言した。
- ・電話相談後、2回直接母親と面接を行う。(校長に話をして会えるように手配)以後、学校が対応。

○事例2:娘の父親に対する暴言についての相談(電話相談1回)

- ・相談内容 これから娘とどう付き合っていくたらよいかわからないとの相談であった。
- ・助言内容 反論するのではなく聞いてあげるゆとりをもつことや家の経済状況をはっきりと告げ、娘に理解してもらうことについて助言した。
- ・以後、再度の電話相談はない。

④改善(ACT)について説明して下さい。

④家庭教育学級は幼・小家庭教育学級(幼稚園4園・小学校7校で年間50回以上)、幼児期家庭教育学級(年間5日間で7講座)を開催している。市内14校の小学校の就学時健康診断の際に保護者へ子育て講座を開催している。家庭教育学級や子育て講座は家庭教育に関する集団学習の場であるので、その場を利用し、親としての心構えや幼児の心理、子育てやしつけ等、家庭教育のあり方について、講師として話す機会があれば、子供のしつけ、発達、教育などに悩みを抱える保護者へのアドバイスに繋がると考えた。しかし、今年度は、更に専門的・経験豊かな講師を選任し、講座を開設する計画である。

⑤男女平等というと、男女の特性を同様に考えてしまう場合が多い。生物学的なちがい(体力・ホルモン・体質(性質を含む))を認め合い、お互いにそれを尊重することが大切であると考えます。

担当課としてもそのように考える。

⑥担当の1次評価にある課題を、平等教育の中でどのように推進していくのか。

課題については、学校と連携を取り学校教育の中で平等教育を推進する。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	児童・生徒等の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する教育等の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係及び担当者職氏名	(子育て支援課)係長 渡辺裕次郎 (学校教育課)主幹 鈴木明	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
		内線番号	子育て・6234 学教7927

P L A N (計画)	事業の概要		
	保育所・幼稚園・小中学校において、児童・生徒等の発達段階に応じ、保育や幼児教育、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育等を展開する。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①保育や幼児教育、生活科、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動など、教育活動全体を通じて、男女平等の意識を高める教育を実施する。 ②日常の保育や幼児教育、行事などにおいて、保育士が男女平等意識にたった保育をするよう努める。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①男女混合名簿や男女共修学による授業が定着し、保育や幼児教育、生活科、社会科、技術家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動など、教育活動全体を通じて、男女平等の意識を高める教育を実施することができた。 ②全ての保育所での保育活動を通して、男女平等意識にたった保育を実施した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)男女混合名簿や男女共修学による授業も定着し、学校での教育活動全体を通じて、男女共同参画の意識は高められている。また、各保育所長による指導により保育士の意識の高揚が図られている。 (課題・問題点)第二次性徴による性差、性同一性障害への理解。男女の特性とそれぞれの良さを認めあえる教育等が課題となるところである。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)各年齢に対しての理解度、教育・保育状況を見て対応できているようなので、引き続き努められたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	男女平等意識を醸造する人権教育の推進及び保育士・教職員の研修の充実を図る。継続して保育士・教職員が男女平等意識に立った保育・教育をするように努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	17	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	児童・生徒等の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する教育等の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係及び 担当者職氏名	(子育て支援課)係長 渡辺裕次郎 (学校教育課)主幹 鈴木明	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
		内線番号	子育て・6234 学教7927

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	十分に取組みがなされており、一定の成果はあげていると思われる。
改善策等の提言	
数値目標を提示していただきたい。講座や上映会の内容を報告していただきたい。 市として、保育士に対しての研修の充実を図れるよう工夫していただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	17	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	児童・生徒等の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する教育等の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係及び 担当者職氏名	(子育て支援課)係長 鶴田美幸 (学校教育課)主幹 松村 暁雄	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
		内線番号	子育て・6234 学教7927

疑問点・質問事項等

①小・中学校において特に意識して取り組んでいることはどのような事か。また、どの教科か。

(回答)人権尊重に関する教育として「いじめ防止」について、各学校とも全校集会を開くなど指導を行っている。道徳の時間はもとより、社会科や家庭科をはじめ各教科等の学習を含む全ての教育活動を通して指導を行っている。

②保育所・幼稚園において、特に意識して取り組んだことは何か。

(回答・幼稚園)子ども一人ひとりの個性を大切にすることを意識し、グループ分けや、遊び、発表会等での衣装等で、男女を基準とした分け方をせず、あくまでも子どもの好きなものを基準とした指導に取り組んでいる。

(回答・保育所)保育所行事や実際の保育において、保育士が男女平等意識に立ち男女を区別することなく保育を行なっている。

- ※ 給食やおやつの当番、運動会の徒競走など
- ※ 男女混合名簿を使用

③実施結果にある「特別活動及び総合的な学習の時間での男女平等の意識を高める教育活動」とは具体的にどのような教育活動を実施したのか。

(回答)学級活動では年間指導計画の中に、人権尊重・男女平等に関する学習を位置づけ指導を行っている。「豊かな人間関係プログラム(ピアサポート)」の活用や、総合的な学習の時間での職場体験活動等を通して指導を行っている。

④次年度における取り組み(予定)に「保育士・教職員の研修の充実を図る」とあるが、平成25年度及び今までは実施されていないのか。

(回答)人権尊重・男女平等に特化した研修は組まれてはいないが、市教育研究協議会、校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、若年層教員育成研修会、問題行動対策連絡協議会の中で、その内容に触れている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	性別にとられない進路指導の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 古山 幹夫	内線番号	7929

P L A N (計画)	事業の概要		
	<p>ゲストティーチャーの活用や少人数指導、個別指導等によるきめ細やかな指導の推進により、男女がともに性別にとられることなく各人の生き方・能力・適性を考え、固定的な性別役割分担意識にとられずに主体的に進路を選択できるような進路指導に努める。</p>		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー、学校支援ボランティアの活用。 ・自然体験やボランティア活動、生産体験の積極的な推進。 ・夢、仕事ぴったり体験(小学校)、職場体験(中学校)を通しての勤労観・職業観の育成。 			
D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー、学校支援ボランティアの活用や少人数指導、個別指導等のきめ細かな指導を推進。 ・自然体験やボランティア活動、生産体験の積極的な推進。 ・職場体験等を通じた固定的な性別役割分担意識にとられない職業観の育成。 		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠)各小中学校では、自然体験・生産体験を取り入れたり、さまざまな事業所での職場体験・職業人へのインタビューをさせたりすることで、性別役割分担意識にとられない職業観を育てることができた。 (課題・問題点)ゲストティーチャーや学校支援ボランティアの活用を計画的に行い、性別による役割分担意識にとられない職業観の育成を継続する。</p>	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠)引き続き継続して取り組んでもらいたい。男女平等意識はある程度定着していると思われる。</p>		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<p>家庭・地域と連携しながら、きめ細かな指導と進路指導のさらなる充実を図り、男女平等意識の啓発を図る。</p>		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	19	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	性別にとらわれない進路指導の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 古山 幹夫	内線番号	7929

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	前例踏襲に終始している。
改善策等の提言	
職業選択の視野を広げられるようもうひと工夫が必要だと思われる。 自然体験だけでなく工業系のもの作り体験等も検討してはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	19	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	性別にとらわれない進路指導の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 古山 幹夫	内線番号	7929

疑問点・質問事項等

① 具体的にどのような事業所で職場体験をしたのか教えてもらいたい。また、人気のある職業上位5位までの男女別の人数を教えてもらいたい。

(回答) 市内のある小学校で職場体験をしているのは、公共施設(市役所・公民館・美術館・図書館等)、保育所、幼稚園、消防署、商店、工務店、スポーツクラブ、ペットの施設、スーパーマーケット、美容業、印刷会社、写真業である。

また、2009年にベネッセ教育総合研究所が調査した「第2回子ども生活実態基本調査」によると、小学校男子のなりたい職業1位・野球選手(10.4%)、2位・サッカー選手(6.3%)、3位・医師(2.0%)、4位・研究者・大学教員(1.9%)、同4位・大工(1.9%)、同4位・ゲームクリエイター(1.9%)である。

小学校女子では、1位・ケーキ屋・パティシエ(6.6%)、2位・保育士・幼稚園教諭(6.4%)、3位・芸人(4.7%)、4位・看護師(3.4%)、5位・デザイナー(3.3%)である。

② 25年度はゲストティーチャーや学校支援ボランティアの活用はどのくらい行われ、活用によりどのような事を行ったのか具体的に教えてもらいたい。

(回答) ゲストティーチャーの統計はないが、市内のある小学校では、年間延べ15人、年間延べ活動回数2回で生活科や社会科において「昔遊び・道具の指導」をいただいた。

学校支援ボランティアにおいては、市内幼小中学校1校あたりの平均では、年間延べ18.3人、年間延べ活動回数1201.0回であった。その内容は、樹木の剪定・除草などの環境整備、読み聞かせや農業指導などの教育活動支援、登下校のパトロールなどの安全対策支援であり、特にパトロールの支援回数が増えている。

③ すべての職業・職場の現実的な役割分担は排除できていない。その点を考慮した進路指導が必要ではないか。

(回答) 看護婦から看護師へと職名が変わってきた歴史を取り上げるなど、以前と変化していることを具体的に指導していく。また、普段の学校生活の中で、男女が協力して様々な活動を実践させ、思いやりや人権尊重の気持ちを育てていく。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	個性を生かす教育の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 宮内 智之	内線番号	7923

PLAN (計画)	事業の概要		
	一人ひとりの個性や能力を重視し、実態に応じた学習を進めるとともに、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進する。 また、人権教育、男女共同参画にかかわる意識の醸成を図るため、個別指導の充実を図る。		
	H25予算額	5251	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	5251	H26予算額
	5278		
H25年度の具体的取り組み			
各小中学校に総合学習に対する予算を配分し、稲作体験・インターネットを利用した調査・職場体験を実施し、地域住民や様々な職業に関する人と触れ合うことで主体的に学び考え、行動する姿勢を育むと同時に、人権教育・男女共同参画にかかわる意識を深める。			

DO (実施)	H25年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を中心としたキャリア教育を実施の他、中学校においては進路指導を実施。 ・全校に教育用パソコンを整備し、情報教育を実施。 ・各校において創意工夫を図った体験学習を実施。 		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)一人ひとりの個性を尊重し、児童生徒が、自らの生き方などを考え、固定的な役割分担にとらわれず、主体的に進路を選択する能力や態度を身につける教育の推進をすることができた。 (課題・問題点)学習指導要領の改正により、総合学習にさける時間数が減少した。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	今後も平等に触れ合う機会を与え、個性を生かし興味を持たせる視野の充実を図られたい。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、一人ひとりの個性や能力をのばすとともに、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	20	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	個性を生かす教育の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 宮内 智之	内線番号	7923

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	指導の充実を図っていると思われる。
改善策等の提言	
親の職業を知る機会を設けてはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	20	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	個性を生かす教育の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 宮内 智之	内線番号	7923

疑問点・質問事項等

①体験学習はそれぞれが希望する職を体験するのか。またはランダムに一人ひとりがいろいろな職を体験できる仕組みになっているのか。

(回答)職場体験については、生徒の受け入れについて協力をいただける職場の中から、なるべく生徒の希望にそうことが出来るように職場を割り振って授業を組んでいる。

協力先の新規開拓については、生徒の希望状況により学校が個別に交渉を行ったり、逆に教育委員会に協力の申し出があり、学校にアナウンスするかたちをとってる。

②学習指導要領の改正により、総合学習にさける時間数が減少した中、平成25年度は総合学習で人権教育・男女共同参画に係わる意識を深めるため、具体的にどのような授業を行ったのか。

(回答)主には、職場体験や進路指導において、性別にとらわれずに職業や生き方を自由選択していくことの大切さについての授業を行った。

職業選択における性別の思い込みや決めつけが起きないように配慮し、性別によってではなく、自分の特性、興味関心、希望により進路を決めていくよう指導した。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	自治会活動などの地域活動や各種ボランティア活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生活課	施策の方向	I-2(3)地域における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	副主幹 渡邊 正統	内線番号	7254

PLAN (計画)	事業の概要			
	地域活動に男女がともに参画することの重要性から、団体における女性役員の就任を促進するなど、自治会活動や地域でのボランティア活動における男女共同参画を促進する。			
	H25予算額	1252	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	1252	H26予算額	1602
	H25年度の具体的取り組み			
各種団体における女性役員が増えるよう、男女が共に自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう啓発する。				

DO (実施)	H25年度の実施結果		
	市内全245自治会のうち、昨年より1名増えた10名の女性が自治会長に就いている。また、各地区において女性も地区役員・班長等に就いているほか、自治会活動や地域ボランティア活動にも多くの女性が参加している。		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 自治会活動や地域ボランティア活動への女性の進出は徐々に広がっている状況にある。 (課題・問題点) 役員の割合は圧倒的に男性が多く、共同という視点では未達成な部分がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(課題・問題点) 地区・地域の活動内容については、男性の占める割合が多いので、今後女性の更なる参画を促進されたい。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	女性が参加しやすい環境づくりをよびかけるなど、女性の地域活動への参加を促進し、各種団体における女性役員の拡大を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	22	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	自治会活動などの地域活動や各種ボランティア活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生活課	施策の方向	I-2(3)地域における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	副主幹 渡邊 正統	内線番号	7254

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	自治会に関しては地域によって違うので難しいことは理解できるが、男女共同参画が促進されているとは言い難い。
改善策等の提言	
自治会長の役割分担を見直し、軽減・分散を考えないと女性の参加しやすい環境は出来ないと思う。自治会に女性部を作ることも一案。まずは環境づくり。各種団体の女性役員を増やすには男女共同参画の視点を入れて貰うよう呼びかける。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	22	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	自治会活動などの地域活動や各種ボランティア活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生活課	施策の方向	I-2(3)地域における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	副主幹 渡邊 正統	内線番号	7254

疑問点・質問事項等

①自治会役員を決める際に生活課が具体的にどのような係わりをしているのかを具体的に知りたい

現在、茂原市内には245の自治会があるが、個々の自治会については、それぞれの地域において民主的な運営のもと自主的な活動が行われている。

生活課は、茂原市自治会長連合会の事務局となっており、運営に関して事務的な手伝いはしているが、役員決めについては、個々の自治会が会則等に則って民意により行っているものであり、生活課が関与するものではない。

②課題として役員の割合は圧倒的に男性が多く～ とあり、改善に女性が参加しやすい環境づくりを呼びかける～ としていますが、課題解決のために女性が参加しやすい環境をつくる具体的手だてはどのようなことが考えられますか？

自治会等の自主的な組織においては、その成り立ち等によって、ある程度役員の男女比が決まってくる傾向はある。特に、地縁組織である自治会においては、役員決め等の会議を開催した場合、加入世帯の世帯主が出席することが多く、必然的に男性の占める割合が大きくなる。

こうした中で、女性の参加を促進していくためには、男性女性を問わず、自治会役員は男性になるものといった固定的な意識を改革する必要があり、女性を主体とした部会作りなど、自治会に限らず各般に渡り講演会等を通じて呼びかけていくことが重要と考える。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	片岡弘一	内線番号	7314

P L A N (計画)	事業の概要		
	「市長と話し合う会」への女性の出席者を増やす方策を講じるなど、広聴活動における女性の意見聴取機会の確保を図る。		
	H25予算額	121	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	89	H26予算額
			125
H25年度の具体的取り組み			
①「市長と話し合う会」を年2回開催する。(茂原地区、本納地区) ②「市民ふれあいミーティング」を年2回開催する。(夏・冬)			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①「市長と話し合う会」(広報もばら、市公式ウェブサイトで周知) 11月2日(土)市民室開催・48人参加(男42、女6) : 11月10日(日)本納公民館開催・33人参加(男32、女1) ②「市民ふれあいミーティング」(広報もばら、市公式ウェブサイトで周知) 8月29日(木)開催・5人参加(男4、女1) : 1月30日(木)・6人参加(男3、女3) ③「市長への手紙」(市公式ウェブサイトにて提出方法などの記載あり)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	「市長と話し合う会」「市民ふれあいミーティング」「市長への手紙」など広聴事業については、男女を問わず広く市民から意見が出されている。「市長と話し合う会」においては、女性の発言機会を確保できるように、指名の際配慮している。「市民ふれあいミーティング」については、男性の参加数が若干多かったが、女性の参加も少なくなく、女性の意見聴取の機会は確保されている。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(課題・問題点)女性の参加者数が少ないため、女性限定のミーティング等を開催した方が良い。若手夫婦や子育て世代の参加を促進するような活動を検討されたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	「市長と話し合う会」の会議録を、行政情報コーナー・図書館に設置し、市民の目に触れる機会を多くし、興味喚起を行う。各種媒体で多くの市民の参加を促がすため、引き続き周知に努める。また、今までの開催時間は午後からだけであったが、午前中の開催を企画し、回数も1回増やすことで、参加機会の拡充を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	24	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	片岡弘一	内線番号	7314

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	現状では、意見聴取というより参加者からの事前の質問に回答するだけの会になっている。
改善策等の提言	
<p>今までの公聴事業を改め、例えば、「市長と子育てについて話し合う会」、「市長と介護について話し合う会」、「市長とこれからの茂原について話し合う会」等の具体的に意見聴取ができる事業として見直してはどうか？ 意見聴取のあり方、女性への呼びかけ、話し合いのためのコーディネーターの存在等を検討する必要がある。</p>	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	24	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	片岡弘一	内線番号	7314

疑問点・質問事項等

①市長と話し合う会への女性参加の呼びかけをどのようにしているかを具体的に知りたい。

市民全体に対し、参加を呼びかけており、女性参加を促がすことを目的として、団体などに呼びかけは行っていませんが、質問者が多数出たときに、女性の発言機会を確保する観点から、指名の際に配慮しています。

②※参加しての感想です。市民ふれあいミーティングについて意見聴取の機会として設けられ、広報もばらに記載された内容での理解で参加しましたが、実際は担当課などの現状説明であったように思います。現状はある程度理解し、その上にとって今後の市政への意見であったり、意見交換ができる場と考え参加したのですが、少し違ったようです。

「市民ふれあいミーティング」は、市長とひざを交えて語り合える機会を提供し、将来の茂原を語り合えるような意見交換が出来ることを目的としています。

対談の内容が、限定的な要望や、詳細な施策内容などの話になると、所管課で把握しているデータや具体的な運営手法の情報が必要となるため、同席して説明を行う場合があります。

③「市民ふれあいミーティング」の意見聴取としての運営の方法・考え方を教えて下さい。

市の広聴事業として「市民ふれあいミーティング」を開催しています。②でも回答したように、市長と直接意見交換ができる機会の提供を一つの目的としており、そのため、少人数(最大10名)で開催しているところです。(年間2回開催)

また、広聴事業の目的である「市民のもつ創意と活力を行政に反映させる」ため、対談の記録概要を、関係する各課へ配布し、事業計画などに役立てています。

開催については、市広報紙や公式ウェブサイト、幅広く周知を行い、参加者を募っています。

また、平成26年度から、対談テーマを設け、それに絞った話し合いが出来るよう工夫をしているので、より活発な意見交換が出来る場が提供できると考えています。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業・団体における女性の参画拡大についての周知・啓発	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

P L A N (計 画)	事業の概要		
	<p>広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用して企業・団体における女性の参画拡大について周知・啓発を図るとともに、毎年6月の「男女共同参画週間」において広報活動を行う。</p>		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額 0
D O (実 施)	H25年度の具体的な取り組み		
	<p>①広報もばらや茂原市ホームページにおいて、男女共同参画週間の周知などを行い、情報提供に努める。 ②県の事業「男女共同参画推進事業所表彰」の周知を行い、企業の男女共同参画の取り組みが評価される機会を紹介する。</p>		
	H25年度の実施結果		
C H E C K (評 価)	<p>①茂原市ホームページにおいて、男女共同参画週間の周知を行った。 ②県事業「男女共同参画推進事業所表彰」の案内チラシを情報公開コーナーに設置し、情報提供を行った。</p>		
	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	<p>(評価の根拠)茂原市ホームページや情報公開コーナーなどを利用して情報提供したが、企業に向けての啓発という点で、もっと効果的に啓発する方法があったと思われる。(課題・問題点)ホームページ・情報公開コーナーでの情報提供は、興味を持った人にしか伝わらないので、関心の低い人にまでどう周知・啓発していくかが課題。</p>	
A C T (改 善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	<p>(評価の根拠)ホームページや情報公開コーナーを利用して発信しても周知・啓発につながっていないのか成果が見えない。(課題・問題点)企業において従業員の女性割合を調べる、推進的な取組モデルを定めるなど目標を定めることを検討されたい。</p>	
次年度における取り組み(予定)			
関係各課と連携して企業や団体への効果的な啓発方法を検討していく。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	27	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業・団体における女性の参画拡大についての周知・啓発	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	周知、啓発の成果が見えない。
改善策等の提言	
<p>市内の企業にアンケートを取ってみてはどうか。男女の人数、職種、管理職の割合など課題が見えてくるのではないか。記入する方も再考する機会になるのではないか。事業No.27・28・36は次年度整理してみても。</p>	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	27	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業・団体における女性の参画拡大についての周知・啓発	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

疑問点・質問事項等

①男女共同参画に早くたどり着くようにしてもらいたい(たどり着くまでにかかなり苦労している。)

男女共同参画社会を実現するためには様々な手法、視点により活動を推進していくことが必要であると考えます。推進に関してはひとつひとつの取り組みをより多くの人に理解し実践してもらうことが必要のため、地道な活動の継続が大切である。各種取り組みを今後とも継続させていくよう努めます。

②事業NO.27、NO.28は方針決定過程への女性の参画拡大、NO.36雇用・待遇についてですが、具体的取り組み類似しており、施策の方向で整理が必要と思います。そのことにより、25年度の計画、実施、評価、改善がより明確になるのではないのでしょうか？

事業No.27、28、36の具体的取り組みが類似しているというご指摘の点につきましては、今後第3次計画を策定する際に事業の見直しを行い、整理することを検討していきたいと思っております。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係及び担当者職氏名	(企画政策課) 主事 田村 理恵 (商工観光課) 係長 吉田 功	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
		内線番号	企画7416 商工7633

P L A N (計 画)	事業の概要		
	<p>毎年6月の「男女雇用機会均等月間」に合わせ、茂原商工会議所等の関係機関を通して法制度の周知を図るとともに、茂原商工会議所・茂原工業団地連絡協議会・茂原卸商業団地協同組合・六社懇談会等と連携をすることにより、企業が進める男女雇用機会均等に関するポジティブ・アクション(積極的改善措置)について、さまざまな方法で啓発を図る。</p>		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
D O (実 施)	H25年度の具体的な取り組み		
	<p>①広報もばらや茂原市ホームページにおいて、男女雇用機会均等法及びポジティブ・アクションに関する情報提供をする。 ②商工会議所との連携により関係機関に対して同法の周知に努める。特に6月の強化期間においては、積極的改善の促進を図る。 ③周知にあたってホームページ発信、パンフレット配布以外の方法も検討する。</p>		
C H E C K (評 価)	H25年度の実施結果		
	<p>①市ホームページの「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」に「労働と男女共同参画」というコーナーを設け、「男女雇用機会均等法」「ポジティブ・アクションとは」について情報提供した。 ②商工会議所が主催する研修会等で、同法に係るパンフレットを配布し、制度の周知に努めた。 ③実施せず</p>		
A C T (改 善)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	<p>(評価の根拠)啓発に関しては商工会議所との連携は取れているが市ホームページでの情報発信・パンフレット配布にとどまっている。 (課題・問題点)より効果的に周知するために商工会議所以外の機関とも連携をとるとともに企業や団体にどの程度周知されているのか把握する必要がある。</p>	
A C T (改 善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	<p>(評価の根拠)ホームページ及びパンフレット配布のみの情報提供では不十分。 (課題・問題点)研修会等でパンフレット等を配布するとともに講習を行う。また、制度の周知や啓発のための研修会の実施を検討されたい。</p>	
次年度における取り組み(予定)			
関係各課及び商工会議所と連携を図り、企業や団体へのより効果的な啓発方法について検討していく。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	28	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係及び担当者職氏名	(企画政策課) 主事 田村 理恵 (商工観光課) 係長 吉田 功	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
		内線番号	企画7416 商工7633

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	情報提供が不十分。
改善策等の提言	
企業や団体向けの講演会、研修会を実施する。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	28	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係及び 担当者職氏名	(企画政策課) 主事 田村 理恵 (商工観光課) 係長 吉田 功	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
		内線番号	企画7416 商工7633

疑問点・質問事項等

①茂原商工会議所を始め、各種団体に密接にかかわる方策としてどのようなことをされているか具体的に知りたい。

(企画政策課)特に各種団体と係わる方策はとっていない。
(商工観光課)担当者との情報交換、パンフレットの配布等を実施しているが、茂原商工会議所以外の関係団体とのコンタクトはない。

②事業NO.27、NO.28は方針決定過程への女性の参画拡大、NO.36雇用・待遇についてですが、具体的取り組み類似しており、施策の方向で整理が必要と思います。そのことにより、25年度の計画、実施、評価、改善がより明確になるのではないのでしょうか？

事業No.27、28、36の具体的取り組みが類似しているというご指摘の点につきましては、今後第3次計画を策定する際に事業の見直しを行い、整理することを検討していきたいと思っております。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	地域活動や各種ボランティア活動等への男女共同参画促進のための啓発	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 渡邊 正統	内線番号	7254

P L A N (計 画)	事業の概要		
	住みよいまちづくりが展開できるよう、ボランティア情報を取りまとめた「市民活動ガイド」を配布するなど、情報提供と活動の支援を行うとともに、茂原市ボランティアセンター(茂原市社会福祉協議会内)と連携し、男女がともに地域活動に参画することの意義について理解を深めるよう、意識啓発を図る。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
	0		
H25年度の具体的取り組み			
男女が共に地域活動に参加するよう啓発を図り、茂原市ボランティアセンターとの連携を深める。			

D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	茂原市ボランティアセンターと連携し、「もばら市民活動ガイド」を作成した。市民活動の情報提供や情報交換を行い、男女がともに市民活動を通して地域づくりに参加できるよう啓発に努めた。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 市民活動は男女を問わず幅広い年齢層で展開されるのが望ましいが、自由な時間が多い高齢者、女性にやや偏りがあるように思われる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠)市民活動ガイドの存在を知らない人が多い。 (課題・問題点)市民活動ガイドの広報が十分でない為、周知の方法を検討されたい。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き市民活動への理解を深め、男女を問わずより多くの市民が参加できるよう啓発に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	31	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	地域活動や各種ボランティア活動等への男女共同参画促進のための啓発	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 渡邊 正統	内線番号	7254

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	「もばら市民活動ガイド」を作成したのはよいが、活用促進がされていない。。活動をしてくれる一部の市民に頼っていては駄目。高齢化が進み活動できなくなる恐れがある。
改善策等の提言	
啓発の具体的な方法を考える。例えば、「市民活動祭り」を開催し参加の機会を作り、周知と評価をする。「もばら市民活動ガイド」をもっと市民の目に触れるよう設置する。社会福祉協議会等と連携する。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	31	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	地域活動や各種ボランティア活動等への男女共同参画促進のための啓発	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 渡邊 正統	内線番号	7254

疑問点・質問事項等

①ボランティア活動への啓発策を具体的に示し、その達成度を示してほしい。(勉強不足で何も知らない)

社会福祉協議会と連携し、ボランティア活動情報の提供として、ボランティア団体の活動状況を「もばら市民活動ガイド」としてまとめ、市ホームページの生活課内に掲載するとともに、行政資料室や社会福祉協議会へ配布し、ボランティア意識の高揚を図っている。

②「もばら市民活動ガイド」の資料を提示して下さい。

別添のとおり

③「もばら市民活動ガイド」はどのように活用されていますか？

市民の皆さんがボランティア活動(市民活動)をするきっかけづくりや、市民活動における参考資料として役立てていただくとともに、自分がやりたいと思う活動と同じ市民活動をしている団体はないか探したりと身近なガイドブックとして活用されている。

また、市役所内各課や要望のあった団体等に配布しています。

④茂原ボランティアセンターとの連携について具体的に説明して下さい。

「もばら市民活動ガイド」の作成にあたり、茂原ボランティアセンターとともに、各グループの活動状況等の情報交換や活動支援について意見交換を行っています。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	国際理解と交流の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

P L A N (計 画)	事業の概要		
	男女を問わず国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、姉妹都市であるソルズベリー市等との国際交流を通じて、異文化理解と友好親善を深める機会の充実に努める。 また、増加する外国人市民と、お互いの価値観や文化を尊重しながら共生し、安心して暮らしていくことができるまちづくりを目指し、市民、各種ボランティアを中心とする民間団体主導の国際交流を推進するための環境整備に努め、地域活動を支援する。		
	H25予算額	983	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	435	H26予算額
D O (実 施)	H25年度の具体的な取り組み		
	①姉妹都市交流事業の推進 ティンデルクリスチャンスクール生徒等受入(4月)、中学生海外派遣(8月)、モーソンレイクススクール児童等受入(10月) ②国際交流協会の取組 茂原まるまるマルシェ出店(5月・10月)、韓国語教室の開催(7~11月)、茂原七夕まつり出店(7月)、協会先進団体視察(11月)、国際交流パーティーの実施(12月)、姉妹都市紹介イベント(H26.2)		
C H E C K (評 価)	H25年度の実施結果		
	①姉妹都市交流としては、4月にティンデルの生徒等16名、10月にモーソンレイクスの児童等19名を受入れ、8月に市内中学生等28名を派遣した。また、サウスオーストラリア大学生を研修生として市内企業が受入れ、茂原七夕まつりに参加し市民との交流を図った。 ②各種イベント実施時に協会の活動をPRした。新たな取組として韓国語教室の開催(17名参加)や国際交流パーティーを実施し(155名参加)、多くの市民が参加し国際交流への理解を深めた。2月の姉妹都市紹介イベントにはソルズベリー市研修生も参加し、海外派遣事業でソルズベリー市を訪れた中学生と交流する貴重な機会となった。		
A C T (改 善)	数値目標とその成果		
	(23) 交流人数 6,500人以上 成果:約300人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)茂原市国際交流協会も設立2年目を迎え、新たな取り組みが増え民間レベルでの国際交流推進が図れるようになった。姉妹都市交流に関しても協会会員の協力により市民との関わりが増え、良い形で交流が進んでいる。 (課題・問題点)協会の市民への認知度は低く会員も少ないため、より多くの市民に知らせ興味を持ってもらう必要がある。姉妹都市交流についても市民に広報していく必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)国際交流については実績もあり推進されている。 (課題・問題点)国際交流活動については、一部の人にしか認知されておらず、交流の成果がみえない。広報の方法を検討されたい。		
次年度における取り組み(予定)			
姉妹都市市長訪問団の受入れを予定しており、協会と協力して多くの市民と交流できるようなプログラムを計画する。姉妹都市や国際交流にひとりでも多くの人に興味を持ってもらえるよう広報を工夫する。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	32	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	国際理解と交流の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	国際交流が推進されている。
改善策等の提言	
国際交流協会がさらに活躍でき認知してもらえるような方策を検討する。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	32	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	国際理解と交流の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

疑問点・質問事項等

①国際交流活動の内容の周知を徹底させる具体策を知りたい。
 〈市役所が関わっている事を知らなかったので申しわけございません〉

国際交流活動の内容の周知としましては、広報もばらやホームページでの情報提供を行っております。また、国際交流協会が発行する広報誌においても茂原市国際交流協会主催の行事等の紹介などを行っております。こちらの広報紙の配布については、現在は各種イベント時に参加者へ配布しておりますが、今後は各公共施設等にも設置し、周知に努めてまいります。

②計画が着実に進められて成果もあがり評価できます。課題解決(改善)も明確になっており、今後に期待します。

国際交流協会の会員募集については、協会内でも最優先課題としてあげられており、今後は会員確保の為の方策を検討していく予定です。姉妹都市交流の広報については、より多くの市民に情報提供できるよう従来の広報・ホームページでの情報提供以外の有効な方法についても検討していきます。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主幹 鈴木 明	内線番号	7927

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女を問わず国の文化や習慣の違いを互いに理解することができるよう、姉妹都市であるソルズベリー市との交流活動の推進を図る。 また、学校における国際理解教育を通じ、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーション能力の向上を図る。		
	H25予算額	28,155	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	28,005	H26予算額
			28,155
H25年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・ソルズベリー市を中心とするオーストラリアへの中学生、教職員の派遣。 ・小中学校への英語指導講師(ELT)の派遣。 ・総合的な学習の時間や社会科等の時間での国際理解教育の推進。 			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルズベリー市を中心とするオーストラリアへの派遣については中学生は25名、教職員3名の派遣をした。 ・小中学校への英語指導講師(ELT)の派遣については、小学校14校に3名、中学校7校に4名の講師を派遣し、英語の学習及び外国語の文化や言語に触れる機会を作ることができた。 ・総合的な学習の時間や社会科等の時間での国際理解教育の推進を行った。 		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(24) 姉妹都市訪問団の派遣人数 目標:155人(年31人) 成果:28人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)海外派遣については、受入先の都合により、本年度は、昨年より3名減の合計28名の派遣となった。 (課題・問題点)海外派遣については、次年度は、生徒28名、教員3名の参加を目指す。 ELTについては、指導技術の向上が課題である。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)中学生の海外派遣事業としては実績もあり評価できるが、男女共同参画の取組に該当するかは分からない。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	海外派遣については、生徒の派遣人数28人を目指す。 ELTの派遣については、業務委託の業者との連携を密にして、講師の指導技術の向上を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	33	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主幹 鈴木 明	内線番号	7927

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	男女共同参画の視点から、派遣される男女の比率を意識していただきたい。
改善策等の提言	
ソルズベリー市における男女共同参画の取り組みについて、調べてはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	33	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主幹 松村 暁雄	内線番号	7927

疑問点・質問事項等

①参加した生徒、教職員の人数を男女別に知りたい。また、希望者の人数はどの位だったのか。派遣にあたり参加者にテーマなどは設けているか、教えてもらいたい。なお、募集対象は中学校2年生まで拡大されたのか。

(回答)平成25年度参加人数内訳

男子生徒10名(2年生3名、3年生7名)
 女子生徒18名(2年生6名、3年生12名)
 男性教職員2名
 女性教職員1名

昨年度の参加希望者は33名。参加者のテーマについては、自主性を重んじ教育委員会で設けることはせず、応募動機の中に個々のテーマの記載を求めている。また対象者は2年生まで拡大されているが、応募多数の場合は3年生を優先することとしている。

②生徒・教職員の派遣について計画時に男女の比率を考慮したか。

(回答)募集要項に、男女比に関する記述はない。

③派遣生徒への事前指導で、本人の目的・調査内容について触れたか。

(回答)参加者が申込書に記述した応募動機とも関連させ、現地での研修について、事前指導を実施した。

④報告会などの全校生徒への還元はなされているか。

(回答)学校ごとに、全校集会、学年集会、文化祭等で、報告会を行っている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

P L A N (計画)	事業の概要			
	花や自然を大切に思う心を育む「花いっぱい運動」や、地域ぐるみで環境美化に取り組む「ゴミゼロ運動」など、環境保全のための地域活動に男女がともに参画する環境づくりを目指す。			
	H25予算額	2,536	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	2,529	H26予算額	2,460
	H25年度の具体的取り組み			
花いっぱい運動やゴミゼロ運動などを通して、自治会・ボランティア団体などの自主的な美化活動の奨励を行い、男女がともに参画できる環境の拡充を図る。				

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	花いっぱいコンクール参加者 40組 ゴミゼロ運動参加者 12,780人 花いっぱい運動推進協議会 役員5名(男性2名、女性3名)、会員38名(総数43名の内男性31名、女性12名) 総会:年1回、視察研修:年1回 参加者44名(男性22名、女性22名) その他役員会等を開催		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(25) 花いっぱいコンクールの参加者数 目標:延べ200組(40組×5年) 成果:40組(H25)		
	(26) ゴミゼロ運動の参加者数 目標:延べ75,000人(15,000人×5年) 成果:12,780人参加、21,180kg(H25)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) ・花いっぱいコンクールにおいては、男女偏りなく参加いただいている。 ・ゴミゼロ運動統一キャンペーンについては、各自治会、ボランティア団体において実施され、ゴミゼロ運動以外にも自主的な地域清掃が行われている。 (課題・問題点) ・さらに幅広く周知を行う。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)花いっぱいコンクールでは女性の参加が多く、ゴミゼロについても男女ともに参加がある。また、自主的な地域清掃も行われている。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	・第63回花いっぱいコンクールの開催(さらに多くの人に参加していただけるよう、参加経験者や花いっぱい運動推進協議会からの呼びかけを行う)。 ・ゴミゼロ運動実施(5月25日予定)		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	34	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	計画どおり実施されている。継続して取り組みを実施していただきたい。
改善策等の提言	
ゴミゼロ運動については、市独自で強化月間を設けて、年2回の実施を検討してはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	34	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

疑問点・質問事項等

①活動に参加されている方が多い地域を知りたい。

ゴミゼロ運動では、参加人数の多い地域は二宮、東郷、五郷地区が多いように見受けられる。

花いっぱい運動では、東郷、五郷、鶴枝、二宮地区等で自主的に地域へ花壇を設置し、管理をしている団体がある。また、花いっぱいコンクールでは東郷地区で個人の方の参加が多くみられる。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	3Rの推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

P L A N (計画)	事業の概要		
	市民の環境に対する意識の高揚を図るとともに、ごみの減量(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rについて、広報もばらや茂原市ホームページなどのさまざまなメディアを活用して意識啓発を図る。		
	H25予算額	8,184	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	7,543	H26予算額
	7,490		
H25年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・広報・パンフレット等による啓発活動を行うことにより3Rの推進を図る。 ・生ごみ減量化のため、コンポスター及びEM容器の助成販売とあわせ、生ごみ処理機購入者へ補助金を交付する。 			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、パンフレットにて啓発を実施。 ・コンポスター39基、EM容器19組を助成販売。電動生ごみ処理機11台、手動生ごみ処理機1台を補助。 ・リサイクル推進委員会 役員7名(内女性0名)、自治会選出理事10名(内女性0名)、地区代表理事16名(内女性0名)、総数33名(内女性0名) 総会年1回、その他理事会、運営委員会などを開催。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)3Rの推進及び生ごみ減量化においては、男女・年齢問わず関心を寄せていただいている。(課題・問題点) さらに幅広く啓発を行う。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)事業としては十分な成果をあげているが、男女共同参画の視点で評価すべきではない。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、パンフレットによる3R推進の啓発。 ・コンポスター、EM容器助成販売、電動及び手動生ごみ処理機の購入補助を行う。 補助制度の周知活動を行う。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	35	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	3Rの推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	リサイクル推進委員会に女性がいないことを問題視していない。
改善策等の提言	
リサイクル推進委員会に女性が参加できるよう工夫していただきたい。 学習課へのより一層の女性の参加を促し、関心を高めていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	35	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	3Rの推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

疑問点・質問事項等

- ①助成も良いと思うが、ゴミを減らすための講座やドイツなどで行われている、簡単にできるコンポスターの紹介などは行わないのか、知りたい。
 ゴミを減らすための講座については、各地区リサイクル推進委員会主催で「ゴミの減量と地球温暖化対策について」という学習会を行っている。(平成24年度は5地区、平成25年度は2地区実施)
 助成販売しているコンポスター以外の照会は特に行っていない。
- ②リサイクル推進委員会の委員はどのようにして選ばれるのか。
 自治会長連合会より10名の推薦、茂原中央地区を始めとする11地区の各地区自治会長連合会の推薦に基づき、選任される。
- ③ごみ問題の解決には女性の目線が大切だと思われるが、今後、推進委員会の委員に女性が選出されるよう工夫する計画はあるのか。
 自治会長連合会及び各地区のリサイクル推進委員会の構成委員は大多数が自治会長が兼務しており、女性の自治会長は少数である。自治会への女性の積極的参加が無ければ委員に女性が選出されない。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業などが進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進と再チャレンジの支援	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係及び 担当者職氏名	企画政策課 主事 田村理恵 商工観光課 係長 深山 和利	施策の方向	Ⅱ-3(1)就労の平等な機会と公平な待遇の確保
		内線番号	企画7416・商工7633

P L A N (計 画)	事業の概要		
	毎年6月の「男女雇用機会均等月間」に合わせ、企業が進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)について、さまざまな方法で啓発を図るとともに、関係機関と連携して再就職に関するセミナーや相談の周知に努める。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①広報もばらや市ホームページにおいて、ポジティブ・アクションの情報提供に努める。 ②就職に関するセミナーをハローワーク等関係機関と連携して開催する。 ③セミナー実施の周知方法を工夫し参加者を増やす。			

D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	①市ホームページにおいて情報提供するとともに「女性の活躍促進による経済活性化研究会」に参加し、先進市による女性の再就職を支援する取組などについて学んだ。 ①「ジョブカフェちば」の出張セミナーを利用し、H25・8・29(木)に庁舎会議室で「プチ仕事探しカフェin茂原」を開催した。地元企業4社の参加による交流型イベントであり、参加人数が8名(うち女性2名)と少なかったものの、参加者の感想は概ね好評であった。その他ハローワーク等が主催するセミナーの会場として庁舎施設を提供した。 ②セミナー実施の周知にあたり、市広報、HP、公共施設や駅構内におけるポスター掲示、チラシ設置(コンビニエンスストアにも)の他、ジョブカフェちばによる窓口、電話での案内や、ハローワーク茂原窓口でのチラシ配布、県の関係施設、大学へ広報依頼するなどした。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)周知方法については、様々な手段を講じた。 (課題・問題点)就職に関するセミナーについては参加しやすい開催時期を考える必要がある。(お盆の期間が適当か) 再就職支援の方法についての情報を関係所管と共有していく必要がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠)参加する地元企業や参加人数が少なく、広報活動が不十分である。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	関係各課・機関との連携を図り、ポジティブ・アクションの周知及び再就職に関するセミナー・講座などの周知に努めていく。セミナーなどの開催に当たっては、時期を考慮する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	36	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業などが進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進と再チャレンジの支援	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係及び担当者職氏名	企画政策課 主事 田村理恵 商工観光課 係長 深山 和利	施策の方向	Ⅱ-3(1)就労の平等な機会と公平な待遇の確保
		内線番号	企画7416・商工7633

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	周知が不十分。
改善策等の提言	
予算がついてないが、企業と協働で出来ることを検討し、ポジティブアクションの意識を高める勉強会等を開催する。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	36	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業などが進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進と再チャレンジの支援	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係及び 担当者職氏名	企画政策課 主事 田村理恵 商工観光課 係長 深山 和利	施策の方向	Ⅱ-3(1)就労の平等な機会と公平な待遇の確保
		内線番号	企画7416・商工7633

疑問点・質問事項等

①茂原商工会議所を始め、各種団体に密接にかかわる方策としてどのようなことをされているか具体的に知りたい。

(企画政策課)他団体に係わる方策を特にとっていない。
(商工観光課)ハローワークが主催するセミナーの会場に、積極的に庁舎会議室を提供し、また担当者と情報交換するなど連携を図っている。

②事業NO.27、NO.28は方針決定過程への女性の参画拡大、NO.36雇用・待遇についてですが、具体的取り組み類似しており、施策の方向で整理が必要と思います。そのことにより、25年度の計画、実施、評価、改善がより明確になるのではないのでしょうか？

事業No.27、28、36の具体的取り組みが類似しているというご指摘の点につきましては、今後第3次計画を策定する際に事業の見直しを行い、整理することを検討していきたいと思っております。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 市東 佑理	内線番号	7611

P L A N (計画)	事業の概要		
	地元の農産物加工の研究・販売、直売所向けの商品開発や新規参入しようとする人への加工施設見学の受け入れ、起業の方法や運営の指導を行っている女性団体「麦の会」やJA長生との連携を図り、農産物加工を通じた女性の農業経営参画の促進を図る。		
	H25予算額	115	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	115	H26予算額
D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①各種講演や研修会については実施せず ②第21回もばらふるさと塾 開催日:平成25年10月1日(火)9:00~15:00 参加者25人(うち女性22人) 第22回もばらふるさと塾 開催日:平成26年3月7日(金)9:00~15:00 参加者29人(うち女性27人)		
	数値目標とその成果 (28) 女性の農業起業家数 目標:5人以上 成果:1人		
C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 「もばらふるさと塾」を開催することにより、地元野菜や米粉を使った料理をPRすると共に、料理に携わってくれた「麦の会」との情報交換を通じ、農業への関心を深めて貰った。また、女性の農業起業家については、1人の方が認定農業者として承認された。 (課題・問題点) 女性団体に向けた講演や研修会を開催することができなかった。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A C T (改善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(課題・問題点) 女性団体に向けた講演や研修会の実施を検討されたい。	
	次年度における取り組み(予定)		
県やJA長生及び「麦の会」などと連携を図り、幅広い年齢層の市民に対して各種講演などを開催し、知識や情報提供の機会を図る。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	38	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 市東 佑理	内線番号	7611

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	女性団体へ対しての講演会や研修会が実施されていない。
改善策等の提言	
販売ルートを確保し、研修参加への意欲を高められるよう検討していただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	38	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 市東 佑理	内線番号	7611

疑問点・質問事項等

①難しい課題と思う。

講演、研修も大切と思うが販売ルート等の確保や指導はされているのか知りたい。
市として単独で行っていることはないが、県の改良普及課と協力しながら指導に努めている。

②現在女性の農業経営者は何人(何世帯)か。

農業経営者となると経営を担っている者という意味となり、把握は困難であるが、家族経営協定を締結している18名の女性については農業経営者となる。

- ・農業就業人口(農業に従事した世帯員のうち農業のみに従事と農業とその他の仕事に従事したが農業が主の世帯員)のうち女性は1,031人(男性 984人)
- ・基幹的農業従事者(1年間の普段の状態が自営農業が主であった者)のうち女性は714人(男性911人)
参考:2010年農林業センサス(H22.2時点)

③認定農業者として承認された女性農業起業者とは、どのような事をされている方なのか。

企業の内容を教えてください。
夫との共同申請により認定農業者となった。施設園芸、果樹栽培、生産物加工を行っている。
具体的には、落花生、イチジク、トマト、ブルーベリー等を栽培しジャム等の加工品を製造している。

他にも女性の認定農業者には、水稲やキュウリを栽培しおこわや餅といった加工品を製造している方や、水稲栽培に取り組んでいる方がいる。

④「活性化推進協議会」と「ふるさと塾」は同じ組織か。

茂原市農業活性化推進協議会の事業として「もばらふるさと塾」を開催している。

⑤麦の会の会員数は。また、女性団体はいくつあるのか。

麦の会の会員は14名。2つあり、麦の会の他に長生管内でアグリライフ長生という団体がある。

⑥女性団体・幅広い年齢層の市民に向けた講演や研修会とは具体的にはどのようなものを考えていたのか。

また、ここでいう女性団体とはどのような団体等を考えているのか。

さらに、開催できなかった理由は何か。

県の改良普及課と協力し、女性農業者を農業の担い手として育成・支援するための内容や、起業に関する講座を考えている。

対象としては「麦の会」や農産物直売所「加工部会」の女性の方を想定。

他業務との関係により実現することができなかったが、県と協力体制をとりながら開催していきたい。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	39	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 市東 佑理	内線番号	7611

P L A N (計画)	事業の概要		
	<p>農業の経営形態で大半を占める家族経営において、経営と生活の境目が明確でなく、特に夫婦の場合、女性の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件があいまいになりやすいことから、経営主だけでなく配偶者、後継者にとっても農業経営が魅力あるものとするため、家族全員が主体的に経営に参画し、意欲と能力を十分に発揮できる「家族経営協定」の締結を促進する。</p>		
	H25予算額		H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額		H26予算額
	H25年度の具体的取り組み		
<p>①家族全員の話し合いで経営や暮らしの現状を見直し対応策を検討していく中で、家族農業経営における「就業条件の整備」「経営管理の充実」「円滑な世代交代」「生活面のルール化」などに視点を置き協定の文書化を推進する。</p>			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<p>家族経営協定が1件締結された。</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	<p>(29) 家族経営協定の新規締結数 目標:5件以上 成果:1件(平成25年度)、延べ1件</p>		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 家族経営協定の締結が1件行われ年間目標値には至った。 (課題・問題点) 農業経営を夫がされている農家が多いため、改めて家族経営協定までには至らない。</p>	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 家族経営協定の締結が1件行われ年間目標値を達成した。 (課題・問題点) 周知活動をして締結を促進していく必要がある。</p>		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<p>認定農業者の認定更新時に、家族経営協定の内容説明をすると共に、各種講演などの情報交換を行い、家族経営協定の締結を推進する。</p>		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	39	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 市東 佑理	内線番号	7611

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	家族経営協定締結の実績が少ない。
改善策等の提言	
引き続き目標達成に努めていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	39	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 市東 佑理	内線番号	7611

疑問点・質問事項等

- ①茂原市内で家族経営協定を締結している農家は何件あるか。
18件(H14 2組、H15 4組、H16 6組、H17 4組、H18 1組、H25 1組)

- ②茂原市内の専業農家と兼業農家は何世帯か。また、専業農家のうち家族経営世帯の数は何世帯か。
専業農家 250戸、兼業農家1,121戸
参考:2010年農林業センサス(H22.2時点)
家族経営協定を締結している世帯は全て専業農家。

- ③現在、認定農業者の認定更新時に、家族経営協定のないよう説明をする以外にどのような方法で周知活動を実施しているのか。
認定農業者の認定時や更新時、新規就農者に対し家族経営協定についてメリットを含めて説明しており、県の改良普及課と共に締結の促進に努めている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	40	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	商工業の女性グループに対する支援、育成の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 吉田 功	内線番号	7633

P L A N (計画)	事業の概要		
	茂原商工会議所に補助金を交付することにより、同商工会議所女性会の事業が円滑に実施できるように支援し、商工業等の自営業における男女共同参画の促進を図る。		
	H25予算額	6,277	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	6,277	H26予算額
			6,277
H25年度の具体的取り組み			
①商工会議所女性会と連携し、同会が主催する視察、研修会、講習会等の開催に際し、新たな企画を計画するなど支援、育成を促進する。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①商工会議所女性会と連携し、同会が主催する視察、研修会、講習会等の開催に際し、新たな企画を計画するなど支援、育成を促進した。 (H25/4/23定時総会、5/14千葉県商工会議所女性会連合会通常総会への参加、5/23関東商工会議所女性会連合会総会への参加、9/24千葉県商工会議所連合会Cブロック事業の実施、10/26介護実演会への参加など)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 積極的な活動が行われている。 (課題・問題点) なし	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 積極的な活動が行われている。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も支援、育成の促進を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	40	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	商工業の女性グループに対する支援、育成の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 吉田 功	内線番号	7633

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	茂原商工会議所女性会としては、活発に活動しているが、市としての具体的な関わりが少ないと思われる。
改善策等の提言	
男女共同参画の観点から、市としてもより積極的に関わった方がよいと思われる。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	40	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	商工業の女性グループに対する支援、育成の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 吉田 功	内線番号	7633

疑問点・質問事項等

①商工会議所女性会が主催する視察、研修会、講習会等の実施内容を教えてもらいたい。
(いくつか記入があったが、例えば総会の中で男女共同参画に触れた部分があったか等が知りたい。)

平成25年度の茂原商工会議所女性会の事業として、相続税改正や介護についての講習会、横須賀への視察研修の実施や、千葉県商工会議所女性会連合会、関東商工会議所女性会連合会への総会へ参加、また県商工会議所女性会のブロック研修では、本所防災館での防災体験に参加するなど、年間を通じて個々の資質向上に努めている。

②計画、実施に対し 評価は”積極的な活動が行われる”としています。評価の根拠を打序共同参画の視点から説明して下さい。

もともと女性会は、女性の力で地域を元気にするため、女性経営者により作られた団体であり、目まぐるしく変化する社会の現状を捉えながら大きなネットワーク、協調、包容力等を活かして行動する団体として社会に貢献することを目的としており、積極的に実施する地域貢献活動により、地域における女性会の評価は高まっていることから、男女共同参画実現のため、活動していると考えます。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など法制度の周知・啓発	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を発揮できる環境の整備
担当者職氏名	係長 深山 和利	内線番号	7633

P L A N (計 画)	事業の概要		
	仕事と育児・介護の両立に向けて、女性だけでなく男性に対しても育児・介護休業の取得を促進するため、広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用して法制度の周知・啓発を図る。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①各種啓発用のパンフレットを公共施設に配布し、啓発に努める。 ②啓発にあたり、市内企業の協力を得られるよう働きかける。			

D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	①各種啓発用のパンフレットを公共施設に配布し、啓発に努めた。 ②啓発にあたり、市内企業の協力を得られるよう働きかけた。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 企業への働きかけが難しい。 (課題・問題点) 企業の協力を得られるよう努力する。	
推進委員会による2次評価とその理由			
		評価材料がないため判断できない。	

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	市内企業の協力も得た上で、啓発にあたる。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	41	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など法制度の周知・啓発	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	係長 深山 和利	内線番号	7633

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	パンフレットを公共施設に配布した事のみ。
改善策等の提言	
<p>企業への働きかけは難しいと思うが、市として関係機関と連携して、具体的な施策を検討し、啓発に取り組んでいただきたい。</p>	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	41	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など法制度の周知・啓発	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	係長 深山 和利	内線番号	7633

疑問点・質問事項等

①実施の①、②の具体的内容及び活用したパンフレットを提示ください。

厚生労働省が発行する「計画的な年次有給休暇の取得促進を」等を公共機関に配布、また市内企業には商工会議所へ配布依頼する。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	県や関係機関による能力開発研修等の情報提供	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	係長 深山 和利	内線番号	7633

P L A N (計画)	事業の概要		
	求職者の就労支援や労働者の能力開発のため、県や関係機関で実施されている講座やセミナーについての情報提供を行う。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①県や関係機関で開催する男女共同参画に関する講座やセミナーのパンフレットを各公共機関に配布し、周知を図る。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①県や関係機関で開催する男女共同参画に関する講座やセミナーのパンフレットを各公共機関に配布し、周知を図った。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 県や関係機関が作成したパンフレットの配布は行うことが出来た。 (課題・問題点) 講座等の内容がテーマに沿っているかについても確認する必要がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 配布件数や広報の方法が分からないため、成果が分からない。 (課題・問題点) 商工だよりに情報掲載するよう検討されたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	男女共同参画というテーマに沿った内容のものであるか意識しつつ、情報提供に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	42	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	県や関係機関による能力開発研修等の情報提供	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	係長 深山 和利	内線番号	7633

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	情報提供という事業としては実施されている。
改善策等の提言	
<p>パンフレットを配布するだけでは成果はあがらない。企業向けの研修、個人の能力アップの講座、起業する人のための講座等たくさんある。適宜に情報を発信し提供するだけでなく、参加するように指導されたい。大勢の方が参加しやすくするため、講座やセミナーを長生地域で開催できるよう検討していただきたい。</p>	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	42	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	県や関係機関による能力開発研修等の情報提供	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	係長 深山 和利	内線番号	7633

疑問点・質問事項等

①施策の方向に沿った講座やセミナーはどのようなものがあるのでしょうか？

ハローワーク茂原と連携し、求職者の就労支援や働くことに踏み出せない若者をサポートするため、各種相談会を開催している。

- ・H25・4～ 庁舎9階に「ちば南東部地域若者サポートステーション」を開設
- ・H25・8・29(木)「プチ仕事探しカフェ in 茂原」を開催
- ・H25・4～H26・3 全12回 「子育てお母さん再就職支援セミナー」(主催:千葉県ジョブサポートセンター)
- ・H25・4～H26・3 毎月第1・3水曜日「女性向け出張相談・セミナー」(主催:千葉県求職者総合支援センター)
- ・H25・4～H26・3 毎月1回 「事業主のための個別相談会」(主催:千葉労働局)
- ・H25・10～H25・11 全8回 「平成25年度第35回千葉県労働大学講座」(主催:千葉県雇用労働課)
- ・H25・11・26(火)「ワークライフ・バランスセミナーIN船橋」(主催:千葉県、船橋市)

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

PLAN (計画)	事業の概要		
	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について、講演会や講座のテーマに取り入れるとともに、広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用するほか、九都県市首脳会議で推進する定時退庁・定時退社などの啓発活動を通じて意識啓発を図る。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
			0
H25年度の具体的取り組み			
①ワーク・ライフ・バランスについて、広報もばら、茂原市ホームページなどで情報提供し、意識啓発を図る。 ②市職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、毎週水曜日の定時退庁日を庁内システムにて周知する。			

DO (実施)	H25年度の実施結果		
	①市ホームページ「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター～」にてワーク・ライフ・バランスについての情報提供に努めた。 ②毎週水曜日を「ノー残業デー」に設定し、庁内システムのお知らせに掲載し職員への啓発を図った。また、H26.1.21女性職員を対象に行われた「意識改革研修～女性が考える男女共同参画～」において、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講義を行い、基本的な考え方や取組方法について説明した。		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)ホームページ上でワークライフバランスについての情報提供を行うとともに、市職員に対しても研修において意識啓発を図れた。 (課題・問題点)情報提供や意識啓発をする対象を広げていく必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)ノー残業デー等により意識啓発は図れている。 (課題・問題点)「ワーク・ライフ・バランス」をもっと広く浸透させる必要がある。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続きホームページの内容の充実を図ると共に、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・セミナーの開催などを検討していく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	43	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	市役所内に留まっている。
改善策等の提言	
企業においても推進していくよう対象を広げていくことが必要。(商工観光課との連携も含めて) 企業や教育現場でのワークライフバランスの取り組みに関する調査を実施し、実態を把握してはどうか。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	43	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	主事 田村 理恵	内線番号	7416

疑問点・質問事項等

①毎週水曜日の「ノー残業デー」の実施状況(定時退庁)を教えてください。

①労働基準法改正等の影響により毎週水曜日がノー残業デーに設定され、定時退庁を推進するようにしたことに加え、東日本大震災後の節電対策として平成23年度より従来の水曜に加え金曜日もノー残業デーに設定し、現在は水曜と金曜の週2日の定時退庁を推奨している。

②庁内における仕事を効率的に行うための職場協力体制(課・係・担当)などの手だてはどのようにしていますか？(水曜日に限らず定時退庁に向けて)

②企画政策課に関しては各係にて担当業務を担っているが、業務多忙時には係・担当の別なく手助けし合えるように努めている。また、仕事の偏りがでないよう常に上司が係員の業務内容を把握し、適切に助言・指導を行い時間外勤務がなるべく生じることのないように分担・効率化を図っている。

課によっては担当を1年ごとに変更して様々な業務に精通し、どのようなお客様にも対応できるような体制作りをしている所属もある。このことにより、お客様への対応がよくなる、仕事を皆で共有できるようになり、結果職員も休暇を取りやすい環境が整うなど利点が多く生じている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	次世代育成支援対策地域行動計画の推進	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 板倉 正樹	内線番号	6239

P L A N (計 画)	事業の概要		
	<p>子どもは次代を担う存在であることから、子どもが社会の一員として尊重され、社会全体で子育てを支援し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めるため、「次世代育成支援対策地域行動計画」で掲げる7つの基本目標に基づき、地域ぐるみで子どもたちの健全育成に取り組む事業を推進する。</p>		
	H25予算額	24	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	15	H26予算額
D O (実 施)	H25年度の具体的な取り組み		
	<p>①基本施策に基づく各事業の進捗状況を把握する。 ②保護者・利用者の立場にたったサービスの充実を図る。 ③主要事業の実績を取りまとめ公表を行う。</p>		
C H E C K (評 価)	H25年度の実施結果		
	<p>①「次世代育成支援対策地域行動計画」の対象とする150事業の進捗状況を担当部署に調査し、把握している。 ②事業内容について翌年度の地域協議会での協議により、委員から意見を聴取している。 ③主要25事業の実績を翌年9月にホームページ及び市広報にて公表している。</p>		
A C T (改 善)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	基本目標に沿って150項目の関連事業が実施されているが、1回の協議会の中で全ての内容を協議することが難しい。	
A C T (改 善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の理由)150事業の調査、把握が終了していることから一定の成果をあげたと判断できる。 (課題・問題点)公表やサービス充実の面で、まだ成果が上がっておらず、次年度以降実施の強化をする必要がある。	
A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	引続き、各事業の実績を把握して充実を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	44	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	次世代育成支援対策地域行動計画の推進	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 板倉 正樹	内線番号	6239

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	茂原市の地域協議会の開催回数が少ないと思われる。
改善策等の提言	
なるべく多くの事業について把握するため、協議会の回数を増やすことを検討してはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	44	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	次世代育成支援対策地域行動計画の推進	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 八島 忠行	内線番号	6239

疑問点・質問事項等

①協議会では、内容を協議するだけなのか。見なおしや改善等検討されないのか。

この次世代育成支援対策地域行動計画は、長生郡市が取り組む次世代育成支援対策に関する基本的方向性や目標を定め、子育てに対する支援の強化・拡充に努め、長生郡市が相互支援できる可能性をみだし、長生郡市を一つに地域としてとりくむものとしての計画であります。事業の評価や改善の意見等、今後の施策に向けた助言等を頂いております。

②7つの基本目標の3子どもの心身の健やかな成長に向けた教育環境の整備において、学校教育における男女共同参画の推進事業は具体的にどのように行っていますか。

小中学校において、社会科・道徳・特別活動等を中心に児童生徒の発達段階に応じて、男女相互の理解を深める等の指導を推進しております。

③平成24年度の事業評価シートACT(改善)欄に記入されていた「関連事業の実績を数値化するなど分かりやすくする」等の検討は実施されたのか伺う。

国指定13事業について数値化いたしました。

④地域協議会は年何回開催されているのか(年1回開催のみ?)

地域協議会委員会議については、年1回、担当者会議3回、担当課長会議2回であります。

⑤平成24年度の事業評価シートの1次評価でも1回の協議会の場で150項目の関連事業について全ての内容を協議するのは難しいと指摘されていたが、その解決策として、開催回数を増やすことは検討されたのか。

公表される47項目について、協議いたしました。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 板倉 正樹	内線番号	6239

P L A N (計画)	事業の概要		
	子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや茂原市ホームページを活用して相談事業の周知を図るとともに、子育て支援課および保育所、幼稚園、保健センターなどの身近な施設において、乳幼児の健康に関する相談や育児・子育てに関する相談に対応する。 児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応する。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
D O (実施)	H25年度の具体的な取り組み		
	①相談員2名に加え、新たに保健師1名が配属され、保健医療相談の充実を図る。 ②相談員の資質向上のため各種研修や会議に積極的に参加する。 ③広報もばらやホームページを活用して相談事業の周知を図る。 ④子育て支援課及び保育所などの身近な施設において相談に対応する。 ⑤要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図る。		
C H E C K (評価)	H25年度の実施結果		
	①子育てに関わる保健医療の相談と対応できるようになった。 ②児童虐待及びDVIに関する会議・研修には、積極的に参加した。 ③広報もばら・ホームページ・子育てハンドブックなどを活用し相談事業の周知に努めた。 ④子育て支援課をはじめ各保育所においても、保育相談の対応に努めた。 ⑤要保護児童対策地域協議会での、個別検討会や実務者会議などを活用し関係機関との連携を図った。		
A C T (改善)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)相談室の体制の充実とともに、相談窓口の周知と関係機関との連携による相談業務の充実に努めた。 (課題・問題点)子育て支援相談は出産・育児・保育から虐待など幅広いため、関係機関との連携が欠かせない。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠)保健師が配属され保健医療相談の充実が図れたことは評価できる。 (課題・問題点)相談内容や窓口の周知方法が見えづらく、他の機関及び市役所内の連携・さらなる関係強化が必要である。		
次年度における取り組み(予定)			
引続き、相談窓口の周知と関係機関との連携による相談業務の充実に努める。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	46	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 板倉 正樹	内線番号	6239

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	相談件数に対して、相談員の数が少ないのではないかとと思われる。
改善策等の提言	
専門職員を増員し相談体制をより充実させることを検討していただきたい。 保育所でも相談が受けられることをPRしていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	46	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 八島 忠行	内線番号	6239

疑問点・質問事項等

①相談窓口を各福祉センターでの開設は考えているのか。

児童館としての役割を担っている福祉センターでは児童厚生員が配置されており、件数は多くはないものの、随時子育て相談に応じている。

②子育て支援課での年間(平成25年度)相談件数と保育所における相談件数は。(過去3年の件数も)

子育て支援課子育て家庭相談室で受理した相談件数はH25年度1039件、H24年度758件、H23年度678件である。保育所ではH25年度25件、H24年度25件、H23年度17件である。

③相談内容はどのような内容が多いのか。

相談内容で多いものは子どもに係る家庭内の人間関係(親子関係)に関する相談で、虐待も含まれている。

④平成24年度の評価シートのACT(改善)欄に記入のあった保健師の配置が実行されてとても良い。

→専門性の向上が図れたことにより、相談者の満足度も向上したと思いますが、反応はどの様であったか。

H25年度より保健師を配置し、乳児幼児の生活習慣や習癖(夜泣きや爪かみなど)、子どもの発達に関する相談数が増えている。

⑤要保護児童対策地域協議会での個別検討会は平成25年度は何件で何回行ったか。(過去3年の件数も)

要保護児童地域対策協議会での個別支援会議の回数はH25年度38件、H24年度11件、H23年度25件開催している。

⑥保育所との連携はしないのか。保育所には相談しやすいし、実際に相談を実施しているのではないか。

当室に相談があったケースについては保育所とも連携しながら支援している。また保育所から相談がある場合も連携し支援している。

保育所では②で相談数を回答したとおり、随時保護者から相談を受け付けている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	学童保育の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	子育て支援課 係長 風戸 恵美子 生涯学習課 主査 川崎 秀則	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
		内線番号	子育て6237・生涯7933

PLAN (計画)	事業の概要			
	女性の社会進出や核家族化など家庭のあり方が大きく変化している中で、学童保育に対する需要が増大していることから、放課後児童の適切な遊びと生活の場の確保などに努め、その健全な育成を図る。今後は、教育委員会が主導する「放課後子どもプラン 運営委員会」の中で学区ごとの検証を行い、さらなる充実を図る。			
	H25予算額	43,770	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	42,317	H26予算額	46,344
	H25年度の具体的取り組み			
<p>①学童クラブは小学校低学年の児童が利用対象だが定員に満たない場合は、4年生も受入れをしていき待機児童がでないようにして子どもの放課後をすごせる居場所としての充実を図る。</p> <p>②保護者の多様な就労状況に対応し、時間延長や長期休業日の学童保育も実施していく。</p> <p>③放課後子どもプラン運営委員会において、放課後や長期休業中(夏休み等)の子どもたちの安全・安心な居場所作りを目的に、放課後子ども教室推進事業(夏休み子ども教室)と放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の両事業について協議する。その中で、学童クラブの現状や課題について検証し、学童保育のさらなる充実を図る。</p>				

DO (実施)	H25年度の実施結果		
	<p>①学童クラブは定員に満たない場合は、4年生も受入れをした。公設・民設の各学童クラブでの利用児童数は定員に達していないので待機児童はなく、異年齢集団の良さを生かした子どもの自立や自治を育てるような活動を支援し放課後をすごせる居場所としての充実にも努めた。</p> <p>②保護者の多様な就労状況に対応し、時間延長や長期休業日の学童保育も実施した。</p> <p>③放課後子どもプラン運営委員会を年2回開催し、放課後子ども教室推進事業(夏休み子ども教室)と放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の両事業の充実・連携について協議した。放課後子ども教室推進事業においては、夏休み子ども教室を3小学校(中の島・緑ヶ丘・豊田)で7日間実施した。放課後児童健全育成事業(学童クラブ)においては、入所状況や各クラブの抱える課題について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成25年 6月20日(木) 14時～15時20分 市庁舎902会議室 14名出席(委員11名、事務局3名) ・第2回 平成25年10月28日(月)14時～15時20分 市庁舎902会議室 9名出席(委員6名、事務局3名) ・中の島っ子クラブ 8月1日(木)～27日(火)14日間 申込者49名、平均参加児童21名(延べ299名) ・緑ヶ丘っ子クラブ 8月1日(木)～9日(金) 7日間 申込者77名、平均参加児童52名(延べ364名) ・豊田っ子クラブ 7月22日(月)～30日(火)7日間 申込者49名、平均参加児童42名(延べ296名) ・時間:午前9時30分～11時30分 場所:各小学校図書室等 		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	(34) 学童保育の開設場所 目標:18カ所 成果:18カ所		
	(35) 学童保育の児童数 目標:延べ2,470人 成果:456人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		(評価の根拠) 学童クラブについては保護者の就労状況に対応し時間延長を実施し、児童と保護者が安心して利用できる居場所として相応しい環境に努めた。また、放課後子どもプラン運営委員会委員11名のうち2名が女性であり、主任児童委員の立場から放課後や夏休み期間中の児童の安全・安心な居場所づくりについて様々な意見をいただき、事業に反映することができた。 (課題・問題点) 民設学童クラブには長期休業日のみの利用ができない施設もあるため、夏期学童クラブを引続き開設して長期休業日の利用者のニーズに適切に対応していく必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		待機児童もなく、長期休みへの対応もなされつつある。	

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	全小学校区に学童クラブは設置されているので利用の促進に努めるとともに放課後子どもプラン運営委員会において、①夏休み子ども教室の実施・検証、次年度の計画について ②学童クラブの現状と課題について協議することにより、両事業のさらなる充実・連携を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	48	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	学童保育の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	子育て支援課 係長 風戸 恵美子 生涯学習課 主査 川崎 秀則	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
		内線番号	子育て6237・生涯7933

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	待機児童もなく、十分対応されていると思われる。
改善策等の提言	
創意工夫を忘れずに、継続して事業をすすめていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	48	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	学童保育の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	子育て支援課 係長 風戸 恵美子 生涯学習課 課長補佐 最首 誠	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
		内線番号	子育て6237・生涯7933

疑問点・質問事項等

①学童クラブの公設・民営の各定員は何名で、利用児童数456人のうち民営の利用児童は何名か。

・定員	公設：せんだん学童クラブ 50名	二宮学童クラブ 25名
	東郷第1学童クラブ 40名	中の島学童クラブ 40名
	東郷第2学童クラブ 50名	
	民設：五郷学童クラブ 50名	豊岡学童クラブ 15名
	萩原学童クラブ 70名	西町学童クラブ 20名
	鶴枝学童クラブ 25名	チャイルドハウス 20名
	豊田学童クラブ 30名	東茂原学童クラブ 45名
	本納学童クラブ 20名	キッズステーション 15名
	学童保育たいよう 30名	緑ヶ丘学童クラブ 15名
	新治学童クラブ 10名	

・民設の利用児童数 279名

②学童クラブや夏休み子ども教室の周知はどのようにしているのか。

(夏休み子ども教室) 実施校全児童に開催文書を配布し、尚且つ、保護者説明会を実施している。
(学童クラブ) 広報もばら、ホームページ、もばらで子育てハンドブックに掲載し周知をしている。

③25年度の夏休み子ども教室は3小学校(中の島・緑ヶ丘・豊田)で実施されているが、他の学校での実施など、更なる充実の計画はあるのか。

26年度より茂原小学校で開催し、計4校で実施している。今後も開催校を増やすよう、検討、計画している。

④24年度に比べて放課後子どもプラン運営委員会の開催が2回と1回少なくなっているが、その理由は。

夏休み子ども教室、学童クラブの両事業が周知され、協議事項が減少したため。(24年度までは事業説明のために1回、会議を開催していたが、25年度より要約して事業説明し、会議を統合したため2回の開催となる。)

⑤学童クラブの定員に満たない場合の4年生受入や、時間延長・長期休業日の実施など充実が図られて良いと思った。

待機児童がでないように今後も保護者の多様な就労状況に対応し、児童と保護者が安心して利用できる居場所としての充実に努める。

⑥担当による1次評価欄にある「運営委員の主任児童委員の意見の反映」とはどのような内容か。

夏休み子ども教室にボランティアとして参加をいただき、活動プログラムの工夫により、地域性を生かし地域の方々の参画を得ながら学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施した。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	50	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	ブックスタートの充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	健康管理課 主査 北田つねこ 子育て支援課 係長 風戸恵美子 図書館 係長 木島悦代	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
		内線番号	健25-1725・子6237・図23-6151

P L A N (計画)	事業の概要		
	ブックスタート(赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心をふれあうひとときを持つきっかけを作ることを目的として、読み聞かせを行いながら絵本を開く楽しい体験と一緒にあたたかなメッセージを伝え、絵本を手渡すとともに、保護者へ地域の子育て支援のさまざまな情報を提供する事業)について、保健センターでの6ヶ月児乳児相談の際に主任児童委員と市民ボランティアの協力を得ながら、その充実に努める。		
	H25予算額	824	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額		H26予算額
	H25年度の具体的取り組み		
毎月1回保健センターで実施される6ヶ月児乳児相談の際来所した親子に絵本の個別配布を行い、本の読み聞かせ、親子のふれあいの大切さについて個別指導を実施する。併せて、未受診者については図書館に来館してもらうか、主任児童委員の家庭訪問により手渡し率の向上を図る。なお、25年度は乳児相談が10ヶ月から6ヶ月に移行する期間のため4月から9月の間、10ヶ月児乳児相談の際にも実施する。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	10ヶ月児乳児相談4/25・5/23・6/26・7/24・8/28・9/25(全6回) 6ヶ月児乳児相談6/27・7/25・8/29・9/26・10/24・11/28・12/19・1/23・2/27・3/20(全10回) 図書館10/1・11/26・12/3・12/13・1/8・1/10・2/22 主任児童委員5/13・6/7・10/10・12/9・1/14		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(37)参加者数 目標:年880名 成果:H26.2現在で739名(3月参加者見込計50名)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)乳児相談未受診者に対して、図書館に来館してもらったり主任児童委員の家庭訪問によって、参加者の増加や絵本の手渡し率が向上している。また、ブックスタートとあわせて地域の子育て支援についての情報も提供できた。 (課題・問題点)夫婦での参加者の増加が伸び悩んでいる。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)手渡し率の向上からも成果をあげていると思われる。 (課題・問題点)夫婦での参加を推進する必要がある。また、実施時期が6か月児乳児相談の際というのもブックスタートに適しているのか検討する必要があるのでは。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	保健センターでの6か月児乳児相談時にブックスタートの実施を継続する。(全12回)		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	50	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	ブックスタートの充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	健康管理課 主査 北田つねこ 子育て支援課 係長 風戸恵美子 図書館 係長 木島悦代	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
		内線番号	健25-1725・子6237・図23-6151

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	十分、成果があがっている。
改善策等の提言	
引き続き夫婦での参加を呼びかけられたい。受取率100%を目指されたい。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	50	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	ブックスタートの充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	健康管理課 主査 北田つねこ 子育て支援課 係長 風戸恵美子 図書館 係長 木島悦代	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
		内線番号	健25-1725・子6237・図23-6151

疑問点・質問事項等

① 幼児六ヶ月児にブックスタートの効果があるのであれば、具体的にお聞かせ願いたい。

保護者に抱っこされている6ヶ月児に絵本を見せると、絵をじっと見たり、手を伸ばしたりする反応が見られる。また、絵本を読み聞かせる側の保護者にとっても、そんな赤ちゃんの様子を見て愛情のこもった言葉を語りかけるようになる。それがブックスタートの大切な効果といえる。

③ 数値目標の880名、成果789名（見込含む）ですが、6ヶ月（10ヶ月）対象者全員に対応できたのでしょうか？

主任児童委員は、乳児相談欠席者で図書館に来館できなかった場合に家庭訪問により保護者と乳児に絵本を手渡ししながら子育て支援についても情報を提供している。

平成25年度分としては27件の依頼に対し14件を手渡しし、引続き対応をしている。

6ヶ月児 受取者 457組（96.63%）

10ヶ月児 受取者 311組（94.24%）

なお、この数字は保健センターの乳児相談での受取者なので、そこに来なかった対象者については、①図書館への来館を促す。②主任児童委員の家庭訪問で対応している。それでも100%の受取率には届かない状況である。

④ 夫婦での参加者より多くするためどのような手だてが考えられますか？

④ 乳児相談が平日に行われるので、特に父親は仕事等の関係で参加が難しいところがある。しかし、ブックスタート開始時よりは、少しずつではあるが夫婦で参加する数が増えている感がある。今後は乳児相談の案内の中に積極的に夫婦での参加を呼び掛けるなどの対応が考えられる。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	51	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	長寿クラブ等の自主活動への支援	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	副主査 沼 崇之	内線番号	6224

P L A N (計画)	事業の概要		
	各種スポーツや文化活動、社会奉仕、友愛活動などを通し、仲間づくりの中で、楽しく健康に過ごし、社会に貢献することを目的としている長寿クラブ等の自主活動に対し、支援を行い、地域に根ざした活動の活性化を図る。		
	H25予算額	1,184	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	1,184	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
平成25年4月1日現在の会員数は、男性1,010名に対し女性1,449名となっており、女性委員会としての活動も活発に行っている。 このような現状を踏まえ、前年度に引き続き会員の加入促進運動に力を入れるとともに、連合会としての活動や会員、クラブ間の交流を充実させ、男女問わず様々な意見を取り入れながら魅力あるクラブづくりに努める。			
D O (実施)	H25年度の実施結果		
	長生地区老人クラブ女性委員会主催による輪投げ大会の実施、茂原市長寿クラブ女性委員会による芸能大会への参加や老人施設での芸能披露など、女性が積極的に活動している。 連合会副会長3名のうち1名は女性であり、毎月の運営委員会についても各地区の女性委員に参加していただいているなど、企画立案の段階から活動に関わっている。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(38) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数 目標:3,000人 成果:2,486人(4/1現在2,459人+中途加入11/30現在27人)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)企画立案から運営、行事への参加に至るまで、男女問わず積極的に活動している。 (課題・問題点)会長など責任ある立場になりたいと考える女性が少ないのが実情である。ただし、女性会員の人数は多く、活動や意見も活発であり、一定以上の成果は出ている。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)健康に過ごす人が増えることで介護などの手間・費用なども減り、働く世代にもメリットがある。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、男女問わず会員の積極的な活動を支援していく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	51	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	長寿クラブ等の自主活動への支援	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	副主査 沼 崇之	内線番号	6224

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	高齢者は増加しているが、参加者は減少している。
改善策等の提言	
参加者が増えるような周知や、社会参加の場の提供等を検討していただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	51	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	長寿クラブ等の自主活動への支援	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	副主査 沼 崇之	内線番号	6224

疑問点・質問事項等

①長寿クラブの会員資格要件と対象人数を教えてください。

会員資格要件は、茂原市に居住する概ね60歳以上の方です(茂原市長寿クラブ連合会会則第4条第4項)。H25.4.1現在、茂原市に居住する60歳以上の方は、男14,861人、女17,691人、計32,552人です。

②会員数は24年度に比べて増加しているが、対象者も増える傾向の中長寿クラブへの加入率の推移はどのような傾向なのか。

対象者の増加に反し、会員数・加入率とも全国的に概ね減少傾向にあり、茂原市では平成元年に会員数4,680名・加入率35.4%だったものが、H25は2,459名・7.6%まで下降しております。

その中で、茂原市の会員数が前年度より増加したのは、日頃の長寿クラブ活動の成果であると考えております。

③女性会員が多いのはどのような理由があるのか。

単に対象者が多いという理由だけでなく、他に考えられる理由は何か。

長寿クラブの場合、死亡や転出以外の退会が少ないことから、女性の方が平均寿命が長いことが要因の1つとして挙げられます。80歳以上の会員が1,159名いらっしゃいますが、その男女比は概ね35:65です。

また、男性より女性の方が、個人単位でなく近所や友人を誘うなど、複数でまとまって加入することが多いのではとも考えられます。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	52	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	センター長 渡辺路子	内線番号	6240

P L A N (計画)	事業の概要		
	地域包括支援センターの保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支えていく。		
	H25予算額	19,112	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	19,112	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
2カ所の地域包括支援センターにおいて、高齢者本人や家族から、電話や窓口にて生活に関する相談に応じ、必要により継続支援を行う。 ①みなみ地域包括支援センターは、五郷地域、鶴枝地域を担当地域とする ②茂原市地域包括支援センターは、上記以外を担当地域とする			
D O (実施)	H25年度の実施結果		
	高齢者やその家族、支援している方々がいつでも相談できるよう、窓口や電話、訪問による相談に応じ、必要な支援に繋がっている。また、昨年度設置した茂原市みなみ地域包括支援センターや、その他関係機関との連携を図っており、多様な相談に対して必要な支援に繋がるよう行っている。 平成25年1月末現在総合相談件数:2,098件(内、茂原市みなみ地域包括支援センター576件)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)包括の連携だけでなく、多様な相談内容に対し、他機関との連携を図り対応している。 (課題・問題点)身近な相談窓口として、市民への周知を図ると共に、他機関との連携を密にしていく。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)市役所内のみならず他職種との連携も図れており対応はできている。 (課題・問題点)相談窓口周知の面で問題がある場合がある。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置していくことで、身近な相談窓口を増やし充実させ、広く市民に周知していく。また、多様なニーズが考えられるため、他職種との連携を図ると共に、地域での見守りの意識を高め体制づくりを検討していく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	52	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	センター長 渡辺路子	内線番号	6240

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	概ね計画どおりに実施されていると思われる。
改善策等の提言	
地域包括支援センターとはどういうものかを住民にわかりやすくPRしていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	52	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	センター長 渡辺路子	内線番号	6240

疑問点・質問事項等

①地域包括支援センターの相談の内、窓口(来所)、電話、訪問時相談別の件数(25年度)と過去3年の件数を教えてもらいたい。

平成25年度 窓口549件、電話1,879件、訪問899件

平成24年度 窓口557件、電話1,542件、訪問747件

平成23年度 窓口429件、電話1,113件、訪問641件

平成22年度 窓口566件、電話1,298件、訪問683件

※平成24年度以降は茂原市地域包括支援センターと茂原市みなみ地域包括支援センターの合計件数です。

②実施結果の平成25年1月末現在総合相談件数2,098件は、平成26年1月末現在の間違いではないか。ご指摘のとおり平成26年1月末現在です。申し訳ございませんでした。

③茂原地域包括支援センターの範囲が広いと思われるが、他に設置する予定はあるか。

平成26年度中に日常生活圏域本納地区(本納、新治、豊岡)、日常生活圏域中央地区(二宮、豊田、東郷)の2か所に地域包括支援センターを設置する予定です。

④みなみ地域包括支援センターの相談窓口の周知はどのような方法で行われたのか。

広報もばら(平成24年9月15日号)並びに茂原市ホームページに掲載しました。また、自治会回覧(五郷地区と鶴枝地区のみ)を行いました。

⑤認知症の相談件数の推移は。

成年後見に関する相談件数の推移をみますと、平成22年度80件、平成23年度86件、平成24年度114件、平成25年155件と、増加傾向にあります。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	53	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	認知症高齢者対策事業(認知症サポーター養成講座)	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	センター長 渡辺路子	内線番号	6240

P L A N (計 画)	事業の概要		
	性別や年齢を問わず、認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活するための支援者となる「認知症サポーター」の養成に努め、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを図る。また、サポーター養成講座の講師資格を有する「キャラバンメイト」を増やし、地域での活動を広げる。		
	H25予算額	206	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	40	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
①一般の方を対象に、「認知症サポーター養成講座」を開催し認知症への理解を広める ②受講し活動の趣旨に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」が継続できるようフォローアップ研修を行う			
D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	①H25認知症サポーター養成講座実施回数 12回、390人養成 ②ほっとみまもり隊登録者数 259人、5団体 (うちH25登録者数89人、1団体) H25フォローアップ研修実施回数 3回、155人 H26.2.26現在		
C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	(39) 認知症サポーター養成講座受講者数 目標:延べ1,100人 成果:延べ1,183人(うちH25受講者数390人) H26.2.26現在		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)認知症サポーター養成者数は目標達成しているが、ほっとみまもり隊の登録者数が達成できていない。フォローアップ研修については3回行い、参加者からも高評価を得ている。 (課題・問題点)認知症サポーターの男女比は男128:女262と女性が男性の2倍以上となっているため、今後は男性のサポーターを増やすと共に、若年層のサポーターを増やしていく。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(課題・問題点)認知症サポーター養成講座自体の認知度を上げていく必要がある。それにより更にサポーターの率を上げていくよう検討されたい。		
A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	男性や若年層へ認知症サポーター養成講座の受講を呼び掛けると共に、既に認知症サポーターとなっている方へほっとみまもり隊への登録を促し、認知症高齢者及びその家族への理解や声かけ活動を広めて行く。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	53	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	認知症高齢者対策事業(認知症サポーター養成講座)	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	センター長 渡辺路子	内線番号	6240

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	順調に進められていると思われる。
改善策等の提言	
関係団体との情報交換を各地域ごとに実施することを検討していただきたい。 地域ごとの「ほっとみまもり隊」の組織作りを検討していただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	53	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	認知症高齢者対策事業(認知症サポーター養成講座)	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	センター長 渡辺路子	内線番号	6240

疑問点・質問事項等

①担当課1次評価欄で「ほっとみまもり隊」の登録者数が達成できていないとあるが、達成目標は何人か。また、具体的にどのような活動をしているのか教えてもらいたい。

「ほっとみまもり隊」の登録者数については、毎年度240名を目標としております。具体的な活動内容は、認知症に対する正しい知識を持った住民が、困っている認知症の方や認知症の方を介護する家族に声かけ等を行うことを通して、地域で支援していくボランティア活動です。

②24年度に比べてフォローアップ研修の実施回数は3回と増えたが、受講人数が155人と24年度の158人より少ない理由は。

平成24年度の受講人数158人には、フォローアップ研修と併せて開催した介護予防講演会の参加者が含まれております。平成25年度の受講者数155人には介護予防講演会の参加者は含まれておらず、平成24年度の受講者数より少なくなっております。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	54	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	係長 小安 宏尚	内線番号	6216

P L A N (計画)	事業の概要		
	障害者とその介護者のために、さまざまな助成事業をはじめとする障害福祉サービス、日中一時支援や移動支援などの地域生活支援事業を充実し、「介護は女性の役割」という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進を図る。		
	H25予算額	128,636	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	121,680	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
居宅介護、短期入所、放課後等デイサービス(児童デイサービス)、行動援護等、障害者総合支援法及び児童福祉法によるサービスの提供。			
D O (実施)	H25年度の実施結果		
	H25年4月からH26年1月までの総延利用人数1,913人(居宅介護、短期入所、放課後等デイサービス、行動援護、日中一時支援、移動支援)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	障害福祉サービス・地域生活支援事業を実施し、社会で支える介護の推進を図った。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)予算や人的な関係の中では最大限の支援の努力はしているが、利用者にとっては満足に至るものではないと思われる。 (課題・問題点)「介護は女性の役割」という社会通念の是正について周知ができていない状況であり、周知方法を検討されたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H25年度と同様に取り組む。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	54	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	係長 小安 宏尚	内線番号	6216

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	取り組みはなされているが、サービスを必要としている人数(世帯)の記載がない。
改善策等の提言	
サービスを必要としているおおよその人数を把握するよう努めていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	54	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	係長 鬼島 啓太	内線番号	6216

疑問点・質問事項等

- ①事業概要にある「社会で支える介護の推進」とはどのようなことか、具体的に知りたい。
行政、障害福祉サービス事業者、地域生活支援事業者が相互の連携を図り、障害者(児)が地域で生活するために必要となる総合的な支援を推進するということ。
- ②社会で支える介護を推進していくために、障害者福祉サービスのメニューや地域生活支援事業などをどのように情報提供しているか。
障害者(児)にはパンフレット、市ホームページ、窓口相談、障害者手帳交付時に説明。事業者には総合支援協議会の各部会等にて情報提供や情報交換している。
- ③市内で家族介護している世帯を把握しているか、また、該当世帯が何件あるか知りたい。
家庭での介護状況については、障害福祉サービス申請時の障害支援区分認定調査など聴き取りにより把握している。施設入所者と単身世帯者以外の世帯については、障害福祉サービスを利用しながら可能な限り家族で協力して介護している状況と感じているが、特に該当世帯数については集計していない。
- ④平成25年度は従来の障害者自立支援法から障害者総合支援法に改正されて初めての年であったが、特別に支障はなかったのか。
また、介護の現場では、まだ「介護は女性の役割」という固定的な性別役割分担意識は強いと感ぜられるか。男性の介護者が増加している傾向はみられないか。
- 改正内容はサービスの申請や利用方法に大きな変更が無かったので、特に支障は無かった。
介護の現場については、申請時の聴き取りの中で家族で協力して行っており、特に介護は女性の役割と固定的な意識が強いとは感じていない。
男性の介護者について増加傾向かは特定できないが、主に被介護者の移動や入浴など力の必要な部分を男性が役割分担している家庭が多い状況と感じている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	55	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	係長 小安 宏尚	内線番号	6216

P L A N (計画)	事業の概要			
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援を行うとともに、身体障害者相談員、知的障害者相談員および保健師などによる精神保健相談支援体制の充実を図る。			
	H25予算額	1,507	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	1,507	H26予算額	1,511
事業の概要				
障害者(児)の日常生活等相談、各種福祉サービスの提供。				

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	H25年4月からH26年1月までの延相談件数 109回		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	障害者(児)を持つ家族等抱えている問題を、本相談にて整理することで、介護サービス等の利用に結びつけ、社会で支える介護の推進を図った。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)本来であれば専門の相談員を配置すべきが理想ではあるが、市職員が対応しており専門性や人員確保という面で達成とは言いがたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H25年度と同様に取り組む。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	55	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	係長 小安 宏尚	内線番号	6216

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	事業評価シートに事業の詳細が記載されていない。 推進委員会による評価に同じ。
改善策等の提言	
数値目標、研修会、他機関との会議の回数等を記載していただきたい。 保健師だけでなく、精神保健福祉士・社会福祉士等の専門職を配置することを検討してはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	55	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	係長 鬼島 啓太	内線番号	6216

疑問点・質問事項等

①事業概要にある「支援体制の充実」とは、どのような体制か、知りたい。

障害者(児)や家族の抱える問題についてその求めている相談内容の把握に努め、相談窓口の中核的役割を担う長生郡市総合支援協議会との連携を密にすることで、情報提供や助言、障害福祉サービス利用に必要な支援を行なうとともに、発達障害等の新たな需要や困難事例にも対応する専門的な相談体制。

②障がい者手帳所持者は何人か。

身体障害者手帳所持者は、平成26年3月31日現在で4,015人。

③愛の手帳所持者(知的障がい者)は何人か。

療育手帳所持者は、平成26年3月31日現在で588人。

④精神保健福祉手帳の所持者は何人か。

精神保健福祉手帳所持者は、平成26年3月31日現在で418人。

⑤障がい者を持つ家族に福祉サービスのメニューを情報提供していく工夫はしているか。

パンフレット、市ホームページ、窓口相談の他、制度改正や各種申請等について文書で周知している。

⑥平成25年4月から平成26年1月までの延相談件数が109回と

平成24年4月から平成25年2月までの延相談件数の210回より大幅に減少となっている主な理由は。

⑥平成24年度においては、利用者負担額応能負担、障害児サービスの再編など障害福祉サービスに大きな改正があったことにより、相談件数が平成23年度88件から大幅に増加した状況であり、平成25年度は特に大きな改正が無かったため例年並みの相談件数に戻ったということ。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	56	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 飯尾克彦	内線番号	7445

P L A N (計 画)	事業の概要		
	災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、女性にも配慮した取り組みを進めるとともに、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の充実を図り、地域防災力の向上に努める。		
	H25予算額	1,260	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0(H26へ繰越 1,260)	H26予算額
H25年度の具体的な取り組み			0
茂原市地域防災計画を改定し、防災会議の委員について男女共同参画の推進を図る上で、女性の参画拡大に努めることや、避難所の生活環境における女性への配慮を明記する。			

D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	茂原市地域防災計画を改定し、東日本大震災を教訓に男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の確立を図った。具体的には、地域防災計画を作成する防災会議において女性の参画拡大に努めることや、避難所運営において更衣室や相談窓口の設置等生活環境における女性への配慮など女性の視点を取り入れた対策を推進した。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 茂原市地域防災計画に女性の視点を取り入れた防災対策、女性への配慮などを反映させた。 (課題・問題点) 関係機関における防災会議委員選出の際、女性登用への配慮が進むかが課題。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 計画に女性への配慮などが一部反映されている点は評価できるが、まだ十分とは言いがたい。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	茂原市地域防災計画を見直しする際、男女共同参画の視点を注視し、今後も新たに必要となった場合は計画を修正していく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	56	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 飯尾克彦	内線番号	7445

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	推進委員会の評価に同じ。
改善策等の提言	
女性や弱者に対する配慮をさらに充実していただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	56	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 飯尾克彦	内線番号	7445

疑問点・質問事項等

- ①防災会議の参加人数を教えてください(分かれば男女別)。
 防災会議の委員は28名で、そのうち男性が26名、女性が2名である。
- ②地域防災計画の改定により、具体的にどのような女性の視点を取り入れた防災対策・女性への配慮などを反映させたのか。避難所運営においての更衣室や相談窓口の設置以外にもあるのか。
- 計画の基本的な考え方として男女共同参画の視点を取り入れるものとした。防災会議の委員に女性の参画拡大に努めることや自主防災組織における女性の経験や能力活用などを明記した。また、市が備蓄する物資の品目にも女性の視点を踏まえることや避難所運営委員会のメンバーに女性を入れることなどを明記し避難所生活における更衣室・トイレ・女性相談窓口等の配慮をすることとした。
- ③担当課1次評価欄課題にある「関係機関における防災会議委員」とは具体的にどのような機関のどのような人の事を指すのか。
 茂原市防災会議条例第3条第5項で規定している指定地方行政機関・千葉県・警察・指定公共機関・指定地方公共機関などの職員である。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	58	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 渡部 智之	内線番号	7256

P L A N (計 画)	事業の概要			
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。			
	H25予算額	2,906	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	2,768	H26予算額	4,561
	H25年度の具体的取り組み			
男女それぞれの視点から地域防犯活動を効果的に実施することで地域防犯力の向上を図るよう、啓発する。				

D O (実 施)	H25年度の実施結果			
	市内38の自主防犯団体が活動しており、女性を含めた団体による地域防犯活動が実施されている。			

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点			
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 防犯の数値的な評価は難しいが、不審者情報は減少傾向にあり、地域活動が活発化していることによる犯罪抑止の効果があると考えられる。 (課題・問題点) 女性が被害者となりやすい犯罪も多いことから、女性の防犯意識向上や防犯活動への参加は、より一層重要な課題である。		
	推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)地域防犯活動の実施自体が犯罪抑止につながっており、一定の成果が出ている。 (課題・問題点)女性の防犯意識向上について啓発を行うような活動を検討されたい。			

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)			
	さらなる防犯意識の向上を図るとともに、地域防犯活動への支援を実施し参加促進を図る。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	58	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 渡部 智之	内線番号	7256

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	地域防犯活動を支援し実施していることが、犯罪抑止に繋がっている。
改善策等の提言	
女性と子供の防犯意識向上について、さらに有効な対策を検討されたい。 地域が連携することは犯罪の抑止につながるの、地域でのあいさつ運動等を取り入れることを検討してはどうか。 防犯カメラの増設を検討していただきたい。	

【総合評価基準】

- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
- B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
- C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	58	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 渡部 智之	内線番号	7256

疑問点・質問事項等

①評価の課題として女性の防犯意識の向上があげられていますが、どのような具体的な取り組みが考えられますか？

被害から身を守るためには、先ず、どのような状況で犯罪が起こっているかを知り、日頃からその防衛策を考えておくことが必要です。声かけなどの事案では、大声を出したり、その場からすぐに逃げ出すなど危険な場所からいち早く離れることにより多数の人が難を逃れています。

担当課として、女性が集まるような場所(検診、教室、集会等)やホームページ、広報等で被害から身を守るための啓発活動や茂原市で発生した犯罪情報をいち早く提供することが必要であると考えております。

市では、不審者情報を安全安心メールで配信するほか、ホームページでも公開しております。

また、夜間の道路の安全安心を目的に防犯灯を設置・管理しており、さらに業務委託した民間の警備会社や市職員による巡回パトロールや犯罪多発箇所の重点警戒を実施しております。

今後も、茂原警察署や市防犯組合等と協力しながら、犯罪の抑止活動をして参ります。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	59	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域ぐるみで子どもを見守る「わん！だふるタイム」の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	生活課 係長 渡部 智之 学校教育課 主幹 木島 明良	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
		内線番号	生活7256・学教7928

P L A N (計 画)	事業の概要		
	健康増進のためのウォーキングや犬の散歩を子どもたちの登下校時間(午前8時ごろ・午後3時ごろ)に合わせて積極的に実施することにより、地域ぐるみで子どもを見守る「わん！だふるタイム」の充実を図る。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
毎週月・金の午後3時に防災無線により「わん！だふるタイム」への協力を呼びかけ、また広報等で周知することにより、男女それぞれの視点から地域防犯活動を効果的に実施することで地域防犯力の向上を図るよう啓発する。			
D O (実 施)	H25年度の実施結果		
	防災無線により「わん！だふるタイム」への協力を呼びかけ、多くの市民の方々の協力を得ることができた。また、広報等により男女の区別なく、地域ぐるみで子どもたちの見守りを呼びかける取り組みとして「わん！だふるタイム」への参加促進を啓発した。		
C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)登下校時等に、子どもたちが被害者となる犯罪が後を絶たない現状において、人の目が犯罪防止に極めて有効であり、多くの市民の協力をいただき見守り活動を実施し、犯罪の未然防止に寄与していると考え。防犯の数値的な評価は難しいが、不審者情報は減少傾向にあり、地域活動が活発化することで犯罪抑止に効果がある。(課題・問題点)実施時間帯の都合により高齢者・主婦層の参加が中心であるため、より幅広い男女の参画が課題である。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)参加したい人が気軽に出来る点で成果があると思われる。(課題・問題点)茂原独自のキャラクター(あんぜんちゃんとマモロー)などもあるため、これを利用してもう少し周知を図りたい。		
A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	犯罪を未然に防止するため、今後も市民の協力を得ながら本運動を継続して実施し、安全・安心な街づくりの推進に努める。また、幅広い年齢層の積極的な参加を促進するため、周知徹底を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	59	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域ぐるみで子どもを見守る「わん! だふるタイム」の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	生活課 係長 渡部 智之 学校教育課 主幹 木島 明良	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
		内線番号	生活7256・学教7928

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	十分に成果が出ている。
改善策等の提言	
折角キャラクターがあるのだから、利用を考え周知してもらい役立てるよう図られたい。地域ぐるみの取り組みにするために、住民同士で話し合い、さまざまな時間帯で行えるようにするなど検討してもらいたい。アナウンスが事務的と感じるので、温かみがあり住民が親しみやすい放送を心がけていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	60	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	係長 鶴岡隆之	内線番号	7244

P L A N (計 画)	事業の概要		
	疾病の早期発見を目的とした各種検(健)診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進する。		
	H25予算額	83,294	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	77,464	H26予算額
D O (実 施)	H25年度の具体的な取り組み		
	① 各種検(健)診について、ホームページや広報のほか、自治会の協力を得ながら「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努める。 ② 地区組織(保健委員会・食生活改善協議会)委員に研修会を実施し、普及活動の協力を得ると共に検診会場に於いてのPR、市民健康講座、出前講座等、あらゆる保健事業にて健康についての意識啓発及び各種検(健)診の受診勧奨に取り組む。		
C H E C K (評 価)	H25年度の実施結果		
	①各種検(健)診について、ホームページや広報のほか、自治会の協力を得ながら「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めた。 ②市・千葉県・ちば県民保健予防財団の共催により「がん予防展・がん講演会」を開催し、がん予防に関する意識啓発を行った。 検診会場に於いては各種検(健)診のPRを実施した。 出前講座にて、各種検(健)診の意識啓発及び受診勧奨を実施した。		
A C T (改 善)	数値目標とその成果		
	(41)がん検診の受診率 目標:50%以上 成果:肺がん17.1%、胃がん11.1%、大腸がん18.9%、子宮がん27.2%、乳がん33%		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A C T (改 善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)様々な機会を通じて、各種検(健)診の意識啓発及び受診勧奨に努め、肺がん・大腸がん・前立腺がんについては、受診者が増加している。 (課題・問題点)胃がん・子宮がん・乳がんについては、受診率は伸び悩んでいる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A C T (改 善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)女性向けの無料クーポン券を個別に送付するなどにより、受診勧奨を行っている点は評価できる。 (課題・問題点)検診について、平日の開催が多く参加しやすいとはいえないため、実際に参加したくなるような企画・周知が必要。	
	次年度における取り組み(予定)		
各種検診について、ホームページや広報のほか、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めるとともに検診会場に於いてのPR、市民健康講座、出前講座等、あらゆる保健事業にて健康についての意識啓発及び各種検診の受診勧奨に取り組む。 また、地区組織(健康生活推進員)の協力を得ながら普及活動を実施する。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	60	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	係長 鶴岡隆之	内線番号	7244

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	受診率向上に努めているが、成果に結びついていない。
改善策等の提言	
周知の中でがんの早期発見者の体験談を掲載する等し、さらなる啓発に努めていただきたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	60	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	係長 林 武彦	内線番号	7244

疑問点・質問事項等

- ①がん検診の受診率の目標50パーセントは、国保加入者の50パーセントという事か。
がん検診の対象者は、検診の対象年齢において、市町村人口から、就業者数を除して、農林水産業人口を加えたものです。
- ②社保加入市民と国保加入市民の割合は。
平成26年3月31日時点における国保加入市民の割合は、30.8%です。よって、国保以外の方の割合は、69.2%となります。
- ③子宮がん、乳がんの受診率が伸び悩んでいる要因を把握しているか。
若年層など、健康づくりに関する意欲が低い方が一定割合存在すること、また、受診環境が十分でない(特に、働く世代の方にとって)ことが要因であると認識しています。
- ④平成25年度予算額83,294千円に対して平成25年度決算見込額77,464千円と決算額が予算額に対して5,830千円の減額となっている。主な原因は。
予算額は、過去の実績に加え、受診率の伸びを見込んで見積もった額ですが、実際には、見込ほど受診率が伸びなかったため、執行残が生じたものです。
- ⑤子宮がんはワクチンによる予防がとられているが、病気の原因や予防方法についての講演の機会をつくらないのか。
平成25年度においては、平成26年2月16日(日)にがん予防展と併せ、午前に乳がん、午後に子宮頸がんについて、講演会を開催しています。
- ⑥地区組織(保健生活推進員)との連携、協力は組織改正で25年度は難しかったと思われます。改善に挙げられていますが、協力を得るための具体的方法を教えてください。
研修会を開催し、地域の普及活動に協力を得たいと考えています。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	61	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康教育・指導や健康相談の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子	内線番号	25-1725

P L A N (計画)	事業の概要		
	心身の健康に関し、思春期、出産・育児期、中高年期、高齢期など生涯を通じた健康問題に対し健康相談、健康教育、家庭訪問などを行い、必要な指導及び助言を行う。		
	H25予算額	0	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	0	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
①乳幼児健診・各種相談・家庭訪問・教室等母子事業の機会を活用し、健康的な生活が送れるよう知識の普及を行う。 ②保健師による「何でも健康相談」、歯科衛生士・栄養士による相談や、地区健康教室や出前講座等において生活習慣病予防に着目した正しい知識の普及や生活改善を図る。			
D O (実施)	H25年度の実施結果		
	母子保健については、ママ・パパ教室、新生児訪問、乳児相談、幼児健診等のあらゆる事業において、ライフステージに沿った健康生活についての知識の普及に努めた。 また、保健師による「何でも健康相談」歯科衛生士・栄養士による相談や、健康診査の事後指導において、生活習慣病予防に着目した正しい知識の普及をはかった。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)夫婦での参加をしやすいするため、ママ・パパ教室と名称を変更したり、土曜日開催をしたり、内容の検討をして夫の参加意義を高めた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)男性の参加促進を図った点では評価できる。 (課題)「何でも健康相談」を実施していることは良い取り組みであるので、より広く周知することを検討されたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、母子保健事業では、「夫は子育ての協力者ではなく、子育ては夫婦が一緒に行く」という意識が定着するように工夫をしていく		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	61	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康教育・指導や健康相談の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子	内線番号	25-1725

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	男性の参加者が増えており、成果をあげていると思われる。
改善策等の提言	
中高年層に対してさらにPRし、教室等への参加について数値目標を設けたうえで、参加者の増加に努められたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	61	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康教育・指導や健康相談の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子	内線番号	25-1725

疑問点・質問事項等

①母子保健事業以外での課題事項を知りたい。

県では健康ちば21の中で、生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化防止、ライフステージに応じた心身機能の維持・向上を施策として掲げています。市として実施している部分も多くありますが、健診(検診)を受けた人に対する支援は行っているものの、検診未受診者に対する支援は不十分であり、特に県の掲げるがん、循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患の発症予防、重症化予防については今後計画化する必要があります。また、人口の高齢化に伴い介護が必要となる人が今後も増加が予測されますが、若年期からの介護予防についての周知が不十分であり課題であります。

②健康生活についての知識の普及は広報以上にどのような方法で取り組んだのか。

比較的若い世代に対しては、母子事業の健診、教室の中で普及しています。中高年層に対しては推進員活動による教室開催伝達により実施していますが、全体の対象者数に対しては少ない人数であり、不十分であります。高齢者層に対しては、地域ごとに行われているサロン、長寿会等で普及伝達を行っています。

③ママ・パパ教室への全体の参加人数に対する夫婦での参加人数は。また、土曜日開催の参加人数は。

ママ・パパ教室全体の参加者人数:289人。夫婦で参加226人。土曜日参加者213人でした。

④ママ・パパ教室と名称を変える前と後での父親の参加数はどれだけ増えたのか。

名称変更前は夫同伴率は5割程度でしたが、現在は7割程度に増加しています。

⑤昨年度開催されたマタニティー教室と内容の変更はあるか、または同じ内容か。

妊娠中から産後、育児期の父親の役割についての内容を強化しました。

⑥こんにちは赤ちゃん訪問は実施されなかったのか。

こんにちは赤ちゃん訪問は業務移管により子育て支援課で継続実施されています。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	62	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談および社会復帰の促進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	健康管理課 副主幹 金坂婦美子 障害福祉課 係長 小安宏尚	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
		内線番号	健管25-1725・障害6216

P L A N (計画)	事業の概要			
	保健師等による精神保健相談の充実を図り、社会復帰に向けての支援を促進する。			
	H25予算額	10,030	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	10,030	H26予算額	10,058
	H25年度の具体的取り組み			
<p>①保健師による「何でも健康相談」や各種健診(相談)において精神的な支援が必要な方には、保健所や障害福祉課と連携し、必要に応じ同行訪問を行うなど継続的な支援を行う。</p> <p>②長生地域生活支援センターと連携を図りながら電話及び窓口相談、家庭訪問等の精神保健相談を行う。</p>				

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<p>①精神保健に関する相談は、窓口に来所の相談が、13件、電話相談が395件(1月末現在)であり、電話相談件数は、前年度の4倍近くになった。</p> <p>②H25年4月から平成26年1月までの延相談件数 2,684回</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 電話相談の頻度が高い人は、女性が多く、生活全般に不安があり、保健センターに電話をする事で、精神的な支えとしている。</p> <p>障害者(児)を持つ家族等が抱えている問題を、本相談にて整理することで、介護サービス等の利用に結びつけ、社会で支える介護の推進を図った。</p> <p>(課題・問題点) 必要に応じて、相談者に適した他の支援機関を紹介するなどが必要である</p>	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 電話相談に関しては内容の量や重要度に応じて対応方法を考える必要が出てくるが、他の支援機関への紹介を行っていることに対しては一定の評価が出来る。</p>		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	精神保健に関する相談は、障害福祉課や長生健康福祉センターが専門機関となっているので、センターで相談を受けた場合、必要性を見極め、適切に専門機関を紹介し、相談者に沿った支援を行っていくよう努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	62	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談および社会復帰の促進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	健康管理課 副主幹 金坂婦美子 障害福祉課 係長 小安宏尚	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
		内線番号	健管25-1725・障害6216

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	相談を受ける取り組みは評価できる。
改善策等の提言	
家庭内で女性に負担が偏っていないかを分析し、適切な対応をしていただきたい。 関係機関との密接な連携をとり、事業を進めていただきたい。 保健師だけでなく、精神保健福祉士・社会福祉士等の専門職を配置することを検討してはどうか。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	62	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談および社会復帰の促進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係及び 担当者職氏名	健康管理課 副主幹 金坂婦美子 障害福祉課 係長 小安宏尚	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
		内線番号	健管25-1725・障害6216

疑問点・質問事項等

①相談内容を分類して把握しているか。

例：夫婦間の問題、職場の人間関係、近隣の人間関係、親子間の問題、仕事上の問題、パワハラなど

健康管理課においては総合相談で実施した精神保健福祉相談についてはシステム上に個別カルテを入力しており、地区担当保健師により詳細に管理されております。

②社会復帰に向けてデイケアなどを実施しているか。またはそのような機関を紹介しているか。

デイケア自体は市としては実施しておりません。精神科を有する医療機関、健康福祉センター等で実施されており、地区担当保健師が関知しているケースについては紹介しております。

③相談件数の男女別件数を教えてもらいたい。

男性：15件、女性：380件。(④に合わせ、1月末現在の統計です)

④精神保健に関する電話相談が395件(1月末現在)と件数が前年度の4倍近く増加した要因は。

市の相談業務の存在が市民に周知された為なのか、また、悩みを抱えている人が増えたためなのか。どのような相談内容が多いのか教えてもらいたい。

平成25年度から、特定の利用者が1日に複数回利用されており、数字が増加しました。精神科的疾病を有する方の症状や生活に関する相談が一番多くなっております。障害福祉課や県の保健所と異なる点は、母子保健を担当しているため、精神科的疾病を有する母親からの育児相談、産後鬱の相談、妊娠に関する相談、DV、虐待に関する相談が多いことです。

⑤事業NO.60と似た取り組みになっている。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	63	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	各種健康診査の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	係長 鶴岡隆之	内線番号	7244

P L A N (計画)	事業の概要			
	健康に関する理解を深め、健康状態を維持するために、各種検(健)診など疾病予防に向けての保健事業を推進する。			
	H25予算額	83,294	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	77,464	H26予算額	82,905
	H25年度の具体的取り組み			
①特定健康診査、胸部エックス線検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症予防検診、歯周疾患検診を実施する。				

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	特定健康診査、胸部エックス線検診、肺がん(喀痰)検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症予防検診、歯周疾患検診を実施した。 また、一定年齢の方を対象に、「子宮がん・乳がん・大腸がん検診無料クーポン券」を発行し、受診勧奨に努めた。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)様々な機会を通じて、各種検(健)診の意識啓発及び受診勧奨に努め、肺がん・大腸がん・前立腺がんについては、受診者が増加している。 (課題・問題点)胃がん・子宮がん・乳がんについては、受診率は伸び悩んでいる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)女性向けの無料クーポン券を個別に送付するなどにより、受診勧奨を行っている点は評価できる。 (課題・問題点)検診について、平日の開催が多く参加しやすいとはいえないため、実際に参加したくなるような企画・周知が必要。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	特定健康診査、胸部エックス線検診、肺がん(喀痰)検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症予防検診、歯周疾患検診を実施する。 また、子宮がんは20歳、乳がんは40歳、大腸がんは40歳から60歳の5歳刻みの方を対象に「がん検診無料クーポン券」を発行し、併せて過去(H21~H24)に「がん検診無料クーポン券」を発行したが検診未受診の方を対象に再勧奨を行う。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	63	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	各種健康診査の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	係長 鶴岡隆之	内線番号	7244

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	がん検診無料クーポン券を送付する等、受診率の向上に努めている。
改善策等の提言	
引き続き受診率向上に努められたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	63	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	各種健康診査の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	係長 林 武彦	内線番号	7244

疑問点・質問事項等

①各受診率を知りたい。

各健(検)診の受診率については、以下のとおりです。

・特定健診 32.9% ・胸部エックス線検診 16.8% ・胃がん検診 10.9% ・大腸がん検診 18.6%

・子宮がん検診 29.0% ・乳がん検診 34.0% ・前立腺がん検診 21.4%

(骨粗しょう症予防検診及び歯周疾患検診は定員制のため、受診率の算定を行っていません。)

②胃がん・子宮がん・乳がんの受診率が伸び悩んでいる原因を把握しているか。

(例えば胃がん検診のバリウム検診の際の放射線量を心配している声を聞いたことがある。)

若年層など、健康づくりに関する意欲が低い方が一定割合存在すること、また、受診環境が十分でない(特に、働く世代の方にとって)ことが主な原因であると認識しています。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	64	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 今井佐知子	内線番号	25-1725

P L A N (計画)	事業の概要			
	<p>「自分の健康は自分で守る」という健康意識の向上と健康の保持・増進および予防活動を市民が自主的に進めることができるよう、市民参加の健康づくりの推進を図る。</p> <p>地区組織(保健委員会、食生活改善協議会)は委員相互の親睦を深め必要な知識を習得し、普及活動を積極的に実施する。また、生活習慣病予防のための運動や休養、心の健康づくり、バランスのとれた食生活など市民の健康ニーズへの対応に努め、研修会、講演会、健康・栄養教室を実施する。</p>			
	H25予算額	1,000	H25予算額(再掲の場合)	
	H25決算見込額	1,000	H26予算額	1,204
	H25年度の具体的取り組み			
<p>①市民参加の健康づくりの推進を図るため、保健委員、食生活改善推進員に対し、普及活動を積極的に実施できるよう研修会を行う。</p> <p>②より多くの市民が参加できるように、開催日時を土、日等にし、男性が参加しやすい教室を開催する。</p> <p>③参加者の安全確保に留意しすすめていく。</p>				

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	<p>①保健委員、食生活改善推進員に対し、健康づくりの推進を図る研修会の実施に努めた。</p> <p>②2年目のため教室開催数を増やして普及活動をおこなった。</p> <p>③参加者の安全確保に留意した教室の開催ができた。</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	<p>(42) 保健委員会の研修会等の参加人数 目標:延べ8,500人以上(年1,700人) 成果:1688人</p> <p>(43) 食生活改善協議会の研修会等の参加人数 目標:延べ15,000人以上(年3,000人) 成果:1714人</p>		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠)研修会で得た知識を普及活動で活かすことができている。今年度は男性の参加が、若干ではあるが増えた。</p> <p>(課題・問題点)回数が増えたため、参加者集めに苦慮した。</p>	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠)教室開催回数を増やすなど健康について考える機会づくりが十分にできている。</p> <p>(課題・問題点)メニューを工夫して(若い男の人向けの肉を使ったヘルシーメニューなど)新規の参加者を増やすよう企画・周知方法を検討されたい。</p>		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	26年度は新団体設立のため、新たな委員となる。市民の健康づくりを推進のための普及活動ができるよう研修会を行う。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	64	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 今井佐知子	内線番号	25-1725

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	教室等の回数を増やす等しており、取り組みは評価できるが、食生活改善協議会の参加実績が目標値に対して低い。
改善策等の提言	
数値目標の設定について、精査した方がよいと思われる。また、男性の参加数の増加に努められたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	64	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 今井佐知子	内線番号	25-1725

疑問点・質問事項等

①食生活改善推進委員及び保健委員の人数は何人で、その内男性委員は何人か。

食生活改善推進員は50人、うち男性0人、保健委員46人、うち男性2人です。

②食生活改善協議会の研修会等の参加人数の数値目標が年3,000人となっているのに対し、平成25年度の成果は1,714人とかなり少ないが、今までの参加人数の推移はどのようになっているか。

参加人数の推移:23年度1885人、24年度1398人、25年度1714人

③教室に参加した人数と男女別の参加者数は。

男性参加者215人、女性参加者3197人となっています。

④実施結果の②で「教室開催数を増やした」とあるが、どの位増やし、どのような内容の教室を開催したのか教えてもらいたい。

実施結果②は食生活改善員が実施した教室回数についてとなっています。前年度より9回増となっています。健康料理教室を実施しました。

⑤26年度の新団体の委員に関して、男女別の人数と年齢、地区割りについて教えてもらいたい。

新団体:健康生活推進員は42人、男性6人、年齢は24歳から80歳、女性36人、年齢は43歳から72歳です。地区割:二宮・豊田、本納、東郷、鶴枝、五郷、高師、茂原の7地区です。

⑥研修会や教室の年間開催日時、参加者数(男女別、できれば年齢も)、タイトルを教えてもらいたい。

研修会、教室の開催日時は別紙1,2参照。

⑦評価の根拠、及び課題について詳しく説明ください。

保健委員、食生活改善推進員が研修会で学んだ知識を、普及活動の場で活かすことができているか、担当者が同席、教室の開催報告書で確認することで、評価し、課題、問題点をみいだします。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	65	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	健康教育の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 今井佐知子	内線番号	25-1725

P L A N (計画)	事業の概要		
	地区組織を通して各地区で運動・栄養等の健康教室を実施するとともに、高齢者に対しては、茂原市社会福祉協議会等と連携し、高齢者が集う場に赴いて介護予防・転倒予防等の講話を実施する。 また、各団体の要望に応じて開催される職員出前講座を活用し、健康に関する講話を実施するとともに、生活習慣改善の一助となるよう、特定健康診査後の結果説明会と事後指導を実施する。		
	H25予算額	75	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	74	H26予算額
D O (実施)	H25年度の具体的な取り組み		
	①各種健康教育の場において、生活習慣病予防その他、健康に関する正しい知識の普及啓発に努め、健康の保持増進を図る。 ②男女を問わず、より多くの市民が参加できるように対象年齢にあった内容の工夫、充実に努める。また広報やホームページ・ポスターを活用し周知する。 ③開催日については、参加しやすい日時を設定する。		
	H25年度の実施結果		
C H E C K (評価)	①特定健診後の結果説明会(健診結果を学ぶ会)の実施では、男性の参加は、学ぶ会では29.6%と昨年度より増えていた。栄養相談では24.8%と減少した。 ②地区組織を活用し、年齢に応じた教室の開催ができた。また、参加したいと好評であった。 ③開催日について、参加しやすいように開催時間の組み合わせに工夫をした。		
	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠)結果説明会への男性の参加は増えた。また、地区組織主催の健康教室の参加では男性の参加者の伸びが少ない。 (課題・問題点) 男性の参加意欲を高めるテーマの設定を引き続き行う。また、周知方法も工夫したい。		
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠)説明会や健康教室の開催など市民が参加する機会は十分に設定されている。 (課題・問題点) 勤労世代については、健康診査を会社で受診している場合が多いため、老年層にしぼったテーマの設定を検討されたい。		
次年度における取り組み(予定)			
引き続き健康教室を開催し、健康保持増進が図れるよう情報提供を行う。			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	65	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	健康教育の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 今井佐知子	内線番号	25-1725

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	様々な教室等を実施しているが、全体的に男性の参加者が少ないと思われる。
改善策等の提言	
男性の参加数の増加に努められたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	65	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	健康教育の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 今井佐知子	内線番号	25-1725

疑問点・質問事項等

①健康教室の内容はどのような事を行ったか。

体力測定、ウォーキング、ノルディックウォーキング、エアロビクス、軽体操、クッキングパパ、骨太クッキング、ヘルシー、介護予防、高血圧予防などの料理教室を開催。

②地区によって内容が異なるのか。

保健員は各地区で異なる教室の開催。食生活改善推進員は、広く一般の方が参加できるように内容が重ならないように研修会で学んだ内容を利用。10支部がそれぞれ担当し、おもに保健センターで教室を開催。

③男性の参加者と女性の参加者の人数を教えてください。

男性215人、女性3197人です。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	66	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	係長 古山 茂成	内線番号	23-2811

P L A N (計画)	事業の概要		
	生涯スポーツの観点に立ち、誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努める。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努める。 開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女がともに参画する機会の確保に努める。		
	H25予算額	2,235	H25予算額(再掲の場合)
	H25決算見込額	2,150	H26予算額
H25年度の具体的取り組み			
①生涯スポーツを推進するため、老若男女誰もが参加できるよう各種スポーツ教室やスポーツまつり、市民体育祭等を開催し、かつその事業の充実に努める。 ②スポーツ教室等の開催については、広報やスポーツもばらなどの情報誌及び市のホームページを有効活用し、市民への情報提供に努める。 ③市内小中学校や公共施設等に開催要項を配布することにより、幅広い年齢層の男女が参加できるよう努める。			

D O (実施)	H25年度の実施結果		
	①各種スポーツ教室：少年少女柔道教室(土曜日：20回)329人(男20人、女10人)、太極拳教室(火曜日：20回)517人(男14人、女48人)、ヨガ教室(金曜日：20回)1,571人(女90人)、整美体操教室(木曜日：20回)702人(男12人、女194人)、軽スポーツ教室(土・日夜間：計15回)308人(男34人女75人)、市民体育祭(8月25日～11月17日)39回、24競技実施 3,852人、ファミリースポーツまつり(6月23日(日))275人、茂原市スポーツレクリエーション祭(3月9日(日))約200名参加申込あり。 ②スポーツもばら(広報もばら内)年3回掲載。 ③市内小学校へ年2回の少年少女柔道教室開催要項配布。ファミリースポーツまつりやスポーツレクリエーション祭のポスターを市内小中学校や各公共施設へ掲示。なお、ファミリースポーツまつりについては、「ゆとりーと」や「シティライフ」の民間広告へ掲載した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(44) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 目標：延べ598回 成果：136回 (45) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 目標：延べ23,700人以上 成果：7,754人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)主催教室にあたっては、土日や夜間に開催するコースを設けることにより、市民誰もが参加する機会を確保することができた。また、ファミリースポーツまつりやスポーツレクリエーション祭はそれぞれ前年よりも参加者が増加することができた。 (課題・問題点)参加者の男女比については、教室によって偏る傾向が見られるが、老若男女誰もが参加できる開催日や内容の充実に努め、情報提供とともに取り組んでいきたい。市民体育祭については、競技志向に走りやすいため、老若男女誰でもが気軽に参加できるよう、体育協会など各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠)あらゆる方が参加しやすいよう土日・夜間に実施していることは評価できる。 (課題・問題点)はじめての方にも参加しやすいよう各教室の特徴などを紹介し、周知する事を検討してもらいたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き市民のニーズに沿うような各種スポーツ教室を開催する。また、市民体育祭やファミリースポーツまつり、スポーツレクリエーション祭を開催する。幅広い年齢層の男女に参加していただけるよう、各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員による第三者評価(項目評価及び総合評価)

事業No.	66	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体健康づくり支援
担当者職氏名	係長 古山 茂成	内線番号	23-2811

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	担当者の熱意が感じられ、かつ参加者数が増加しており評価できる。
改善策等の提言	
男性の参加率が向上するようさらに工夫されたい。	

- 【総合評価基準】
- A …十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 - B …ある程度の成果を上げた(達成度4割~7割)
 - C …事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

質問及び回答票

事業No.	66	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	係長 古山 茂成	内線番号	23-2811

疑問点・質問事項等

①全体的に男性の参加者が少ないが、原因は種目にあると思うか。

・各種スポーツ教室の種目については、老若男女が参加できる種目を選別している。しかしながら、土日及び夜間実施している教室の回数が限定されているため、特に勤労者及び熟年男性の参加率に影響が出ていると思われる。

・平日のスポーツ教室については、団塊の世代の男性層の参加率を向上させる種目を検討する。

②軽スポーツ教室の種目にはどのようなものがあるのか。

・現在、軽スポーツ教室で行っている種目としては、ラージ・ボール卓球、ミニバレーボール、プチテニス等を行っています。他にインディアカやグラウンドゴルフなどは、茂原市の体育協会加盟団体として、活発に活動している種目もあります。

※軽スポーツとは、競技スポーツに比べて比較的負荷のかからないスポーツのことであり、「ニュースポーツ」とも呼ばれています。